

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第22週 >

咽頭結膜熱と手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-9

< 伝染性紅斑 >

2010年秋季以降は例年よりも高い水準となり、2011年に入って現在まで継続している



病原体情報
P.10-12

インフルエンザウイルス 2010/11シーズン



速報
P.13-21

デング熱 2006～2010年



海外感染症情報
P.22-23

インフルエンザ / 鳥インフルエンザ - カンボジアにおける状況



感染症の話
P.24

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(22週)
P.25-30



22週のデータ
P.31-43



発生動向総覧

< 第22週コメント > 6月8日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核379例

3類感染症

細菌性赤痢2例

菌種: *S. flexneri*(B群)1例__感染地域: インドネシア

不明1例__感染地域: 東京都/ペルー

腸管出血性大腸菌感染症38例(有症者27例、うちHUS なし)

感染地域: 国内37例、韓国1例

国内の感染地域: 岩手県3例、神奈川県3例、新潟県3例、富山県3例、福島県2例、岐阜県2例、滋賀県2例、京都府2例、広島県2例、鹿児島県2例、宮城県1例、栃木県1例、埼玉県1例、大阪府1例、兵庫県1例、山口県1例、福岡県1例、宮崎県1例、不明5例

年齢群: 1歳(4例)、2歳(1例)、3歳(2例)、4歳(2例)、5歳(2例)、7歳(2例)、9歳(1例)、10代(3例)、20代(5例)、30代(3例)、40代(3例)、50代(3例)、60代(5例)、80代(2例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(17例)、O26 VT1(9例)、O157 VT2(5例)、O18 VT不明(1例)、O26 VT不明(1例)、O103 VT1(1例)、O121 VT2(1例)、O145 VT1(1例)、O146 VT2(1例)、O157 VT1(1例)

累積報告数: 572例(有症者391例、うちHUS 41例、死亡1例)

腸チフス2例

感染地域: バングラデシュ1例、ネパール1例

4類感染症

E型肝炎2例

感染地域: 三重県1例__感染源: 不明

感染地域: 岡山県1例__感染源: 不明

A型肝炎1例

感染地域: 福岡県

チクングニア熱1例

感染地域: インドネシア

つつが虫病12例

感染地域: 秋田県5例、山形県3例、青森県1例、福島県1例、新潟県1例、広島県1例

デング熱1例

感染地域: インド

日本紅斑熱3例

感染地域: 広島県1例、香川県1例、国内(都道府県不明)1例

レジオネラ症14例(肺炎型14例)

感染地域 : 埼玉県3例(うち1例温泉) 静岡県2例、滋賀県2例、兵庫
県1例、岡山県1例、熊本県1例(温泉) 国内(都道
府県不明)4例(うち1例温泉)

年齢群 : 50代(3例) 60代(6例) 70代(3例) 80代(2例)

5類感染症

アメーバ赤痢9例(腸管アメーバ症7例、腸管外アメーバ症1例、腸管及び腸管外アメーバ症
1例)

感染地域 : 京都府2例、北海道1例、茨城県1例、神奈川県1例、兵
庫県1例、国内(都道府県不明)1例、韓国1例、中国
1例

感染経路 : 性的接触4例(異性間2例、同性間1例、異性間・同性
間不明1例) 経口感染3例、その他・不明2例

ウイルス性肝炎2例 B型2例__感染経路 : 性的接触2例(異性間1例、同性間1例)

急性脳炎2例 単純ヘルペスウイルス1例__年齢群 : 50代

病原体不明1例__年齢群 : 40代

クロイツフェルト・ヤコブ病1例

孤発性プリオン病古典型

劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例

年齢群 : 30代(1例 . 死亡) 50代(1例 . 死亡) 60代(1例) 80代
(1例 . 死亡)

後天性免疫不全症候群19例〔 AIDS 6例、無症候12例、その他1例 〕

感染地域 : 国内15例、オーストラリア1例、国内・国外不明3例

感染経路 : 性的接触17例(異性間7例、同性間9例、異性/同性間
1例) 不明2例

ジアルジア症1例 感染地域 : 茨城県

先天性風しん症候群1例 感染地域 : ベトナム

梅毒12例(早期顕症I期2例、早期顕症II期5例、晩期顕症2例、無症候3例)

風しん10例(検査診断例5例、臨床診断例5例)

感染地域 : 大阪府2例、福岡県2例、北海道1例、秋田県1例、茨城
県1例、神奈川県1例、静岡県1例、国内(都道府県不
明)1例

年齢群 : 1歳(3例) 5～9歳(2例) 20～24歳(3例) 30～34歳
(1例) 40代(1例)

麻しん13例〔 麻しん(検査診断例1例、臨床診断例11例、修飾麻しん(検査診断例1例))

感染地域 : 国内13例

国内の感染地域 : 神奈川県3例、福岡県3例、兵庫県2例、北海道
1例、埼玉県1例、千葉県1例、東京都1例、国内
(都道府県不明)1例

年齢群 : 0歳(1歳) 1歳(1例) 5～9歳(1例) 15～19歳(3例) 20
～24歳(2例) 25～29歳(1例) 30～34歳(1例) 35～39
歳(1例) 40代(2例)

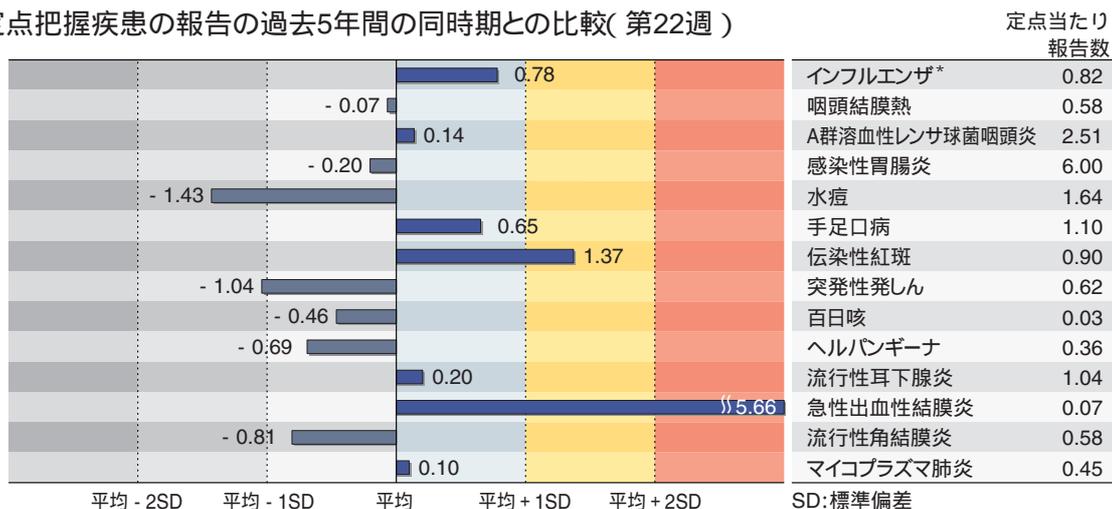
累積報告数 : 297例〔 麻しん(検査診断例153例、臨床診断例91
例) 修飾麻しん(検査診断例53例) 〕

(補)他に2011年第21週までに診断されたものの報告遅れとして、オウム病1例(感染地域 : 大阪府__感染源 : 動物)、デング熱1例(感染地域 : シンガポール/マレーシア/タイ)、日本紅斑熱2例(感染地域 : 和歌山県1例、鹿児島県1例)、急性脳炎4例(単純ヘルペスウイルス2例(0歳、60代)、ロタウイルス1例(0歳)、インフルエンザウイルスB型1例(9歳))、クリプトスポリジウム症1例(感染地域 : 三重県)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(70代、死亡)、風しん6例[検査診断例3例、臨床診断例3例__感染地域 : 北海道3例、愛知県1例、大阪府1例、中国1例__年齢群 : 20～24歳(1例)、25～29歳(1例)、30～34歳(2例)、35～39歳(1例)、40代(1例)]などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第22週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(13.05)、佐賀県(3.54)、鹿児島県(3.03)、長崎県(2.60)、新潟県(2.40)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は299例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約70%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では滋賀県(1.88)、富山県(1.48)、鹿児島県(1.24)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では福井県(5.1)、埼玉県(3.9)、宮崎県(3.8)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では大分県(13.1)、福井県(12.7)、富山県(10.6)が多い。

水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県(3.31)、佐賀県(3.17)、山形県(2.79)、沖縄県(2.79)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では福岡県(5.1)、香川県(5.0)、岡山県(4.8)、佐賀県(4.8)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県(2.61)、山形県(2.10)、栃木県(2.06)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では沖縄県(0.18)、鳥取県(0.11)、岐阜県(0.09)、奈良県(0.09)が多い。

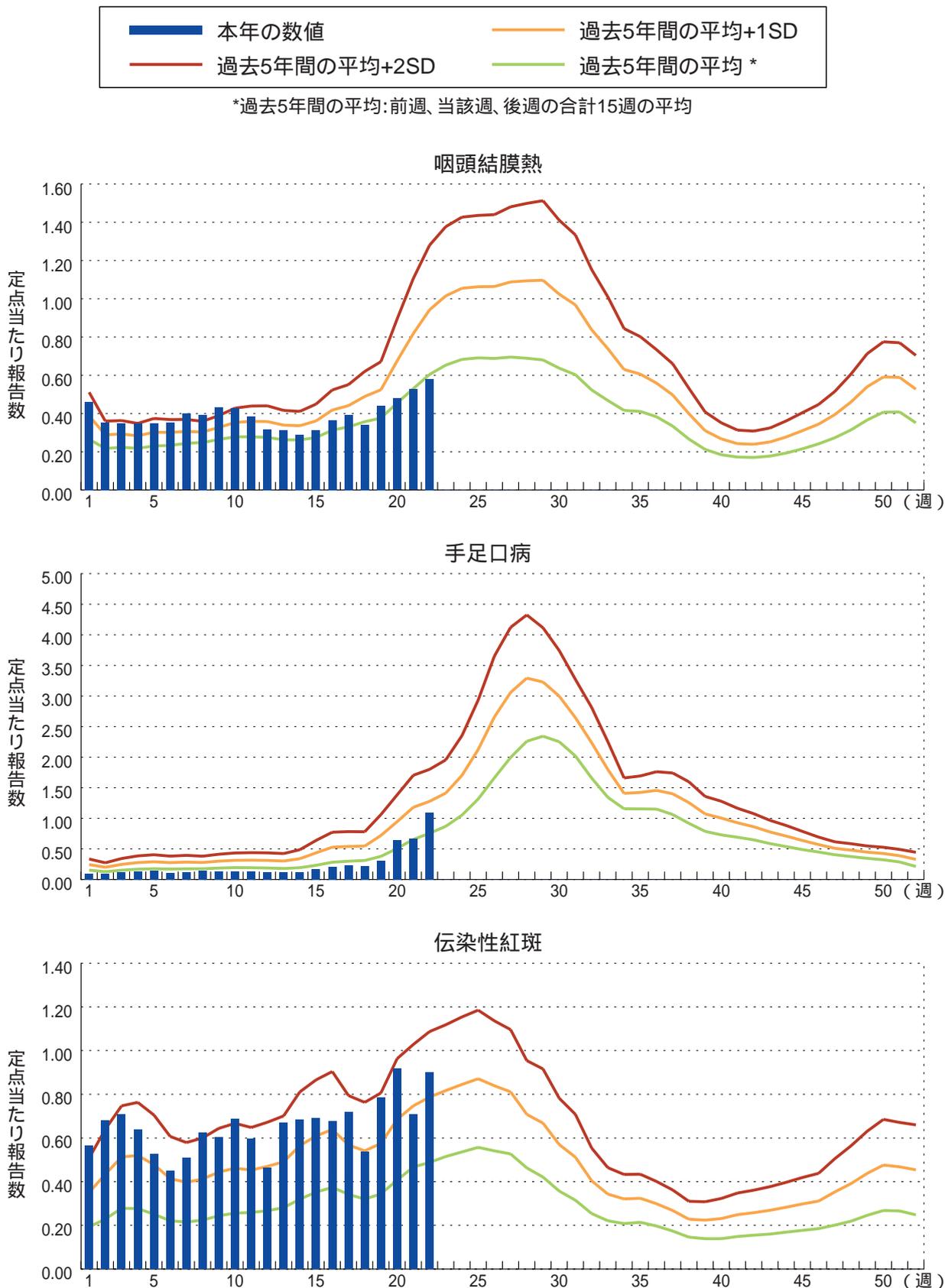
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では鹿児島県(2.87)、香川県(2.20)、鳥取県(1.58)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では長野県(4.35)、鳥取県(3.79)、鹿児島県(3.15)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別では沖縄県(1.86)、青森県(1.67)、福島県(1.57)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2011年第22週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

伝染性紅斑

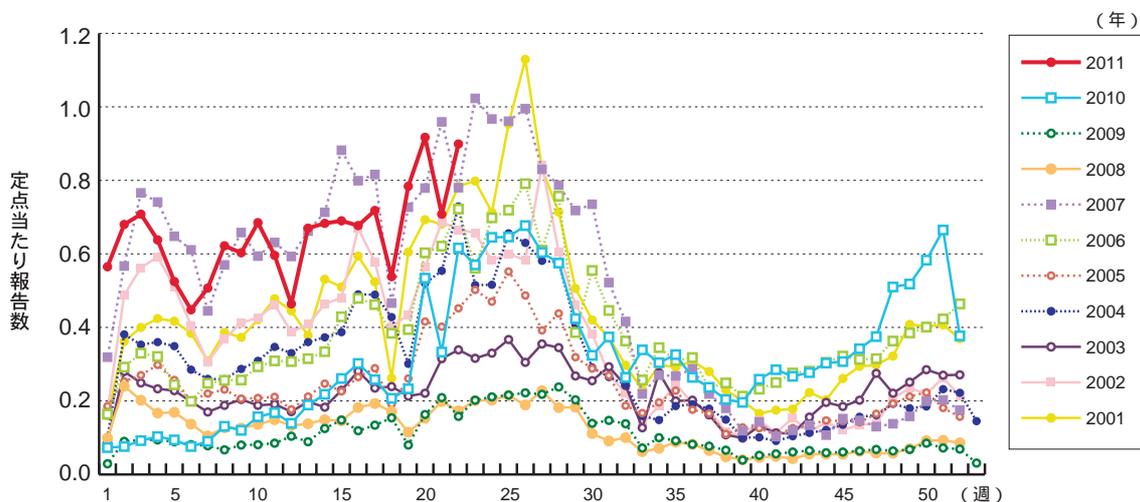
伝染性紅斑(erythema infectiosum)は4～5歳の幼児を中心に幼児、学童に好発する感染症であり、単鎖DNAウイルスであるヒトパルボウイルスB19(Human parvovirus B19)が本症の病原体である。典型例では両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」と呼ばれることもあるが、本症の周辺には多くの非定型例や不顕性感染例があること、また多彩な臨床像があることなども明らかになってきている。

感染後約1週間で軽い感冒様症状を示す例がみられることがあるが、この時期にウイルス血症を起こしており、ウイルスの体外への排泄量は最も多くなる。本疾患の特徴的な症状は感染後10～20日で出現する両頬の境界鮮明な紅斑であり、続いて腕、脚部にも両側性にレース様の紅斑がみられる。体幹部(胸腹背部)にまでこの発疹が出現する例もある(感染症情報センターホームページ: http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k04/k04_23/k04_23.html 写真1、写真2参照)。発熱はあっても軽度である。本疾患の大きな特徴として、発疹出現時期を迎えて伝染性紅斑と臨床的に診断された時点は抗体産生後であり、ウイルス血症はほぼ終息し、既に周囲への感染性は殆どないといわれている。

成人では両頬の蝶形紅斑は少ない。一方、合併症である関節痛・関節炎の頻度は小児では約10%以下といわれているが、成人男性では約30%、成人女性では約60%と高率である。また、妊婦が感染すると、胎児水腫や流産の可能性がある。妊娠前半期の方がより危険性が高いが、後半期にも胎児感染は生じるとの報告もある。なお、先天性風しん症候群のように、妊婦が伝染性紅斑の原因ウイルスであるヒトパルボウイルスB19に感染したことにより、先天奇形をもった児が出産されたとの報告はこれまでにない。その他、溶血性貧血患者が感染した場合の貧血発作(aplastic crisis)を引き起こすことがあり、他にも血小板減少症、顆粒球減少症、血球貪食症候群等の稀ではあるが重篤な合併症が知られている。

感染経路は通常は飛沫感染もしくは接触感染であるが、まれにウイルス血症の時期に採取された血液製剤からの感染の報告がある。本症は紅斑出現の時期には殆ど感染力がないが、反対にウイルス排泄時期には特徴的な症状を呈さないために診断に至らず、実際的な二次感染予防策は存在しない。

図1. 伝染性紅斑の年別・週別発生状況(2001～2011年第22週)



感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいて伝染性紅斑をはじめとする各種小児科疾患の発生動向を分析している。伝染性紅斑は例年夏季に報告数が増加し、第26週または第27週前後がそのピークとなることが多い。1987年、1992年、1997年、そして2000年以降では2001年、2007年とほぼ4～6年ごとの周期で患者発生数の増加がみられている。2008～2009年の報告数は減少し、夏季の流行のピークも定かではない状態が続いていたが、その後2010年の報告数は前年よりも増加し、特に秋季以降は例年よりも高い水準となり、2011年に入って現在まで継続している。2011年第22週の伝染性紅斑の定点当たり報告数は0.90(報告数2,818)となり、前週の報告数(定点当たり報告数0.71)よりも増加した(図1)。都道府県別では宮崎県(2.61)、山形県(2.10)、栃木県(2.06)、群馬県(1.88)、静岡県(1.86)、佐賀県(1.65)、埼玉県(1.60)の順であり、36都府県で前週の報告数よりも増加がみられており、特に宮崎県、静岡県、群馬県、和歌山県の増加が目立っている(図2)。2011年第1～22週までの定点当たり累積報告数は14.35(累積報告数44,972)であり、2000年以降では2007年(定点当たり累積報告数14.71)に次いで多い報告数となっている。年齢群別割合をみると、4～5歳が31.8%と最多であり、次いで6～7歳(25.2%)、2～3歳(16.9%)、8～9歳(13.1%)の順となっており、7歳までで全報告数の75%以上を、9歳以下で90%以上を占めているのは例年と同様である(図3)。

伝染性紅斑の報告数は、例年よりも高い水準を保ったまま、間もなく夏季の流行のピークを迎えることとなると推測される。伝染性紅斑は、多彩な臨床像を呈することからも、実際に診断されているのは感染者の中の一部である可能性があり、加えて紅斑や発疹が出現して臨床的に診断が容易になる前に周囲への感染性があることより、その感染対策は極めて困難であると言わざるを得ない。保育園、幼稚園、小学校等の小児の集団生活施設で流行が発生している際には、その流行が収束するまでの間、妊婦等が施設内に立ち入ることを制限することを考慮すべきである。今後とも伝染性紅斑の発生動向には注意が必要である。

図2. 伝染性紅斑の都道府県別定点当たり報告数の推移(2011年第20～22週)

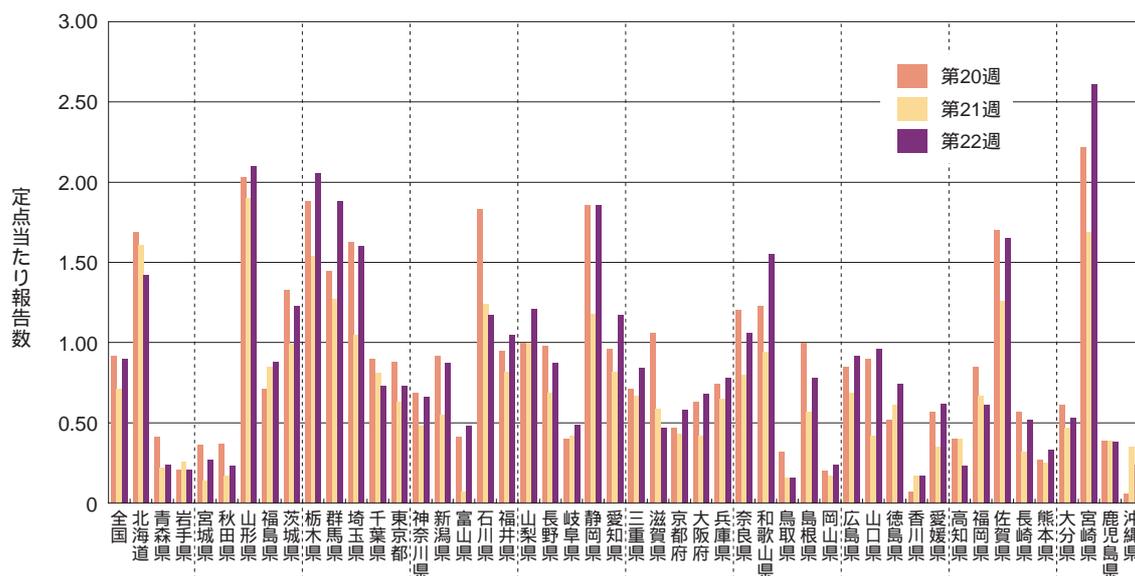
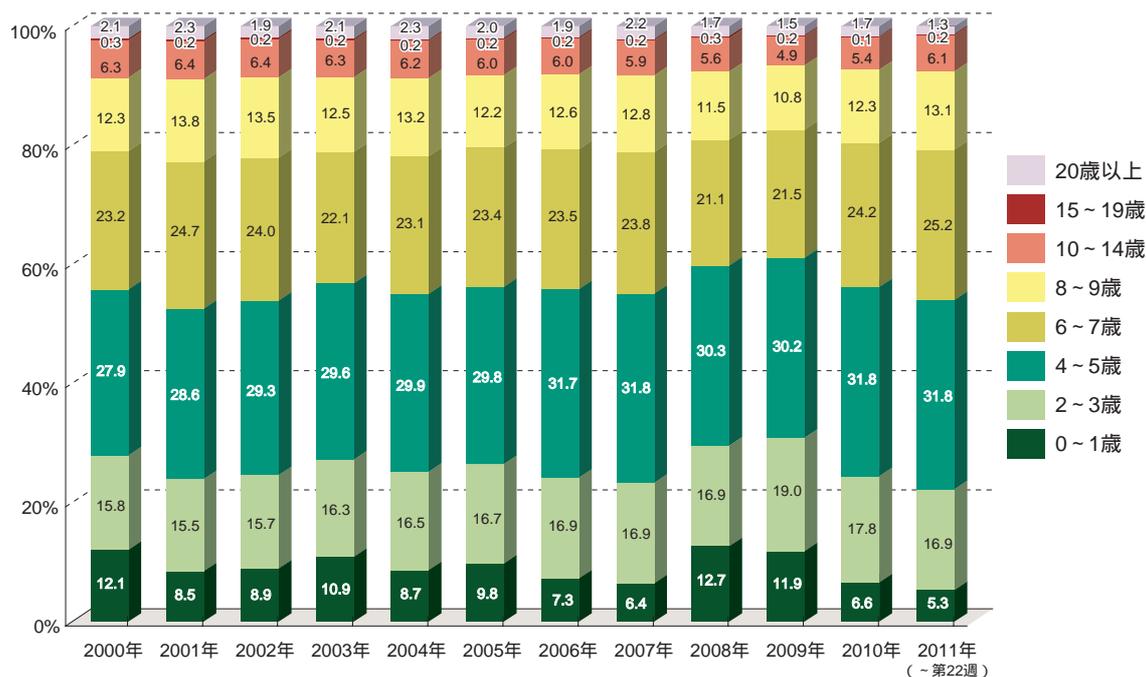


図3. 伝染性紅斑の年別・年齢群別割合(2000 ~ 2011年第22週)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

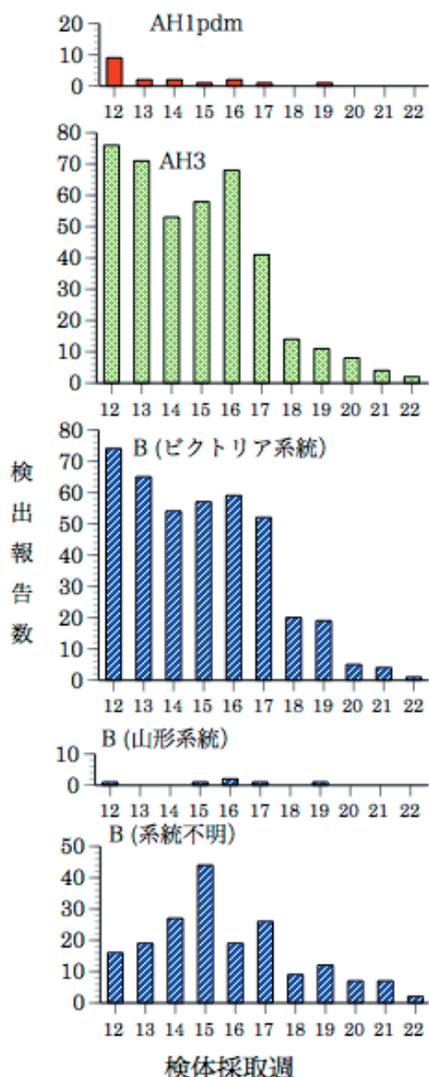
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2011年6月9日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2010/11シーズン

2011年第12週以降はB型の報告数がA型の報告数を上回っている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、
2011年第12週～第22週
(病原微生物検出情報：2011年6月9日現在報告数)



(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる)

各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

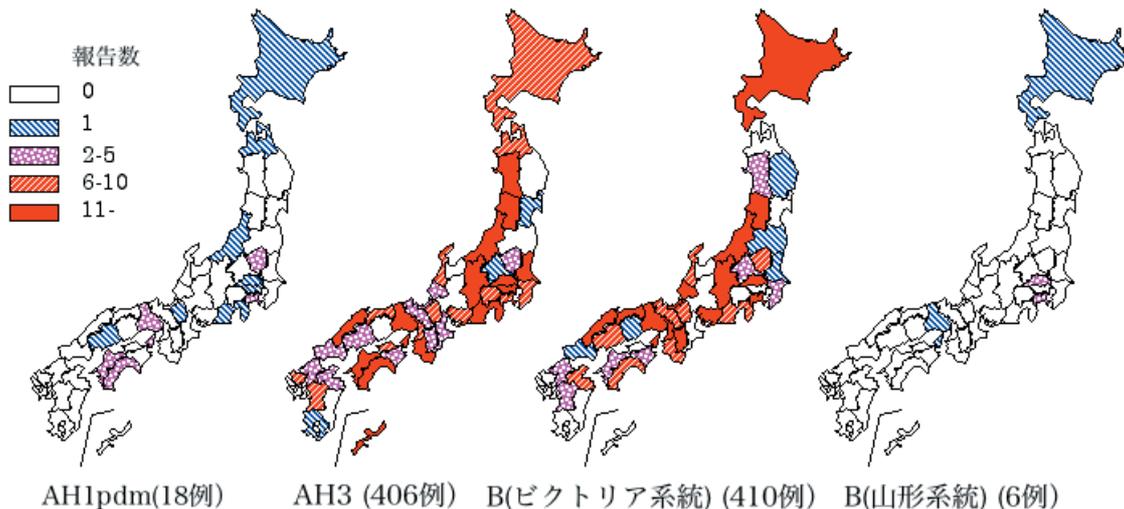


Infectious Agents Surveillance Report

2011年第12～22週の累積では、AH1pdmが13都道府県から18件、AH3亜型が40都道府県から406件、B型はビクトリア系統株が34道府県から410件、山形系統株が4道県から6件、系統不明株が21都道府県から188件報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2011年第12週～第22週

(病原微生物検出情報：2011年6月9日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



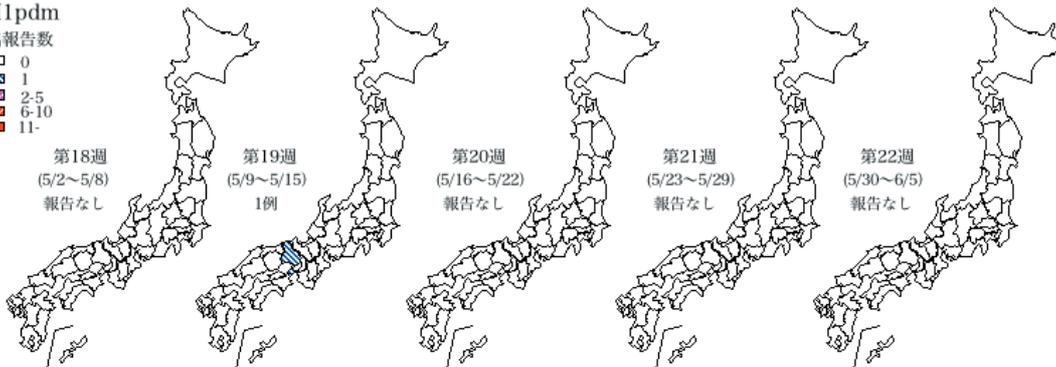
直近の2011年第18～22週の5週間ではAH1pdmが兵庫県から1件、AH3亜型が18県から39件(沖縄県7件、山形県、愛媛県各4件、栃木県、神奈川県、島根県各3件、新潟県、静岡県、兵庫県各2件など)、B型はビクトリア系統株が15府県から49件(栃木県、新潟県各10件、兵庫県8件、大阪府4件、福井県3件、山形県、埼玉県、神奈川県、和歌山県2件など)、山形系統株が埼玉県から1件、系統不明株が12都県から37件(沖縄県9件、静岡県6件、青森県、東京都各5件、高知県4件、兵庫県2件など)報告されている。B型(87件)が分離・検出例全体(127件)の69%、AH3亜型(39件)が31%を占め、AH1pdm(1件)は0.8%を占めている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

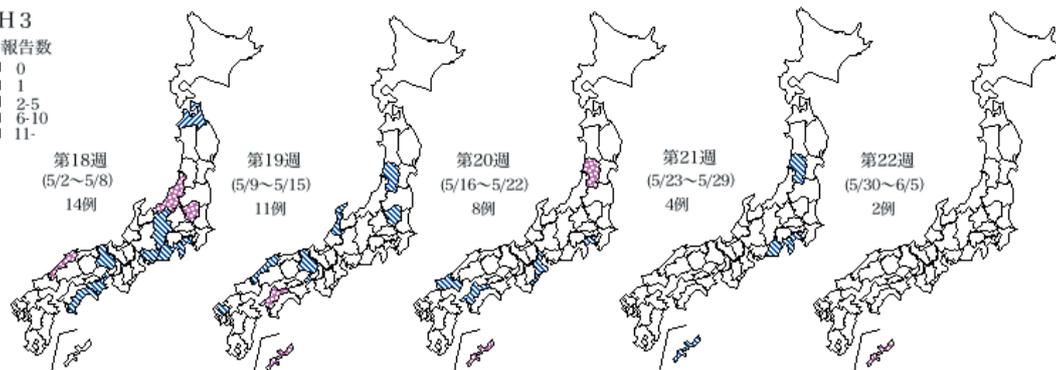
週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2011年第18週～第22週

(病原微生物検出情報：2011年6月9日現在報告数)

AH1pdm
検出報告数
0
1
2-5
6-10
11-

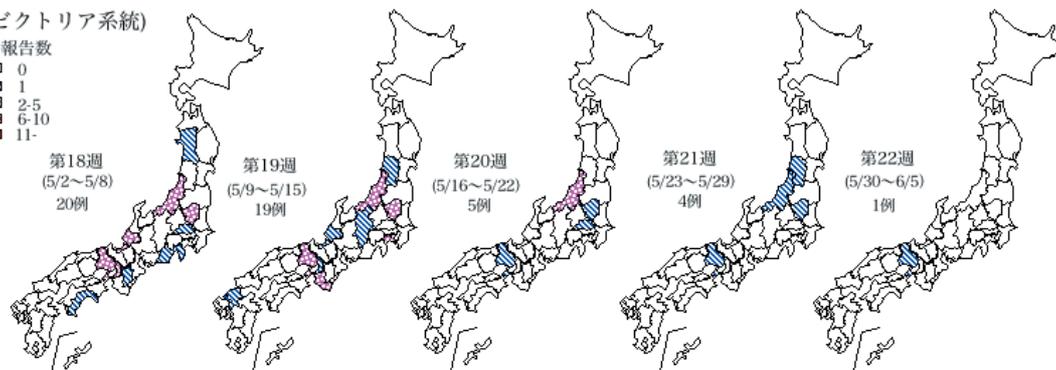


AH3
検出報告数
0
1
2-5
6-10
11-



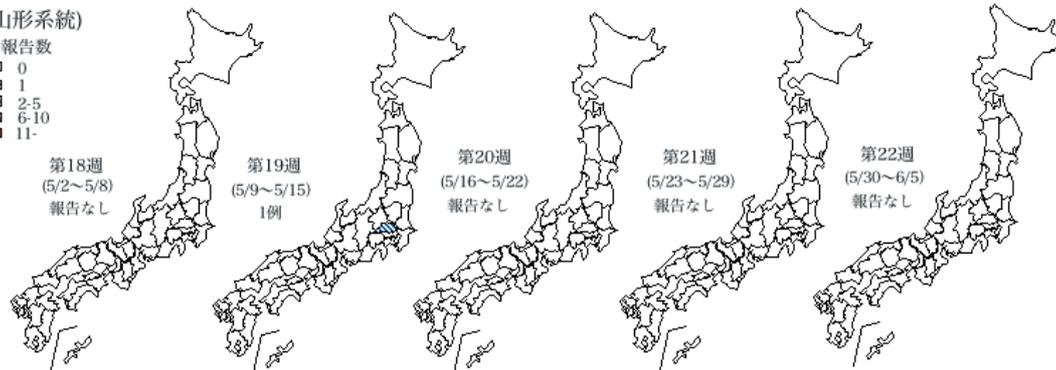
B (ビクトリア系統)

検出報告数
0
1
2-5
6-10
11-



B (山形系統)

検出報告数
0
1
2-5
6-10
11-



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した





デング熱 2006 ~ 2010年(2011年5月24日現在)

デング熱は、デングウイルスを保有するネッタイシマカやヒトスジシマカに刺されることによって感染する疾患である。ヒトからヒトに直接感染することはない、ヒト 蚊 ヒトで感染が成立する。熱帯・亜熱帯のほとんどの国にみられ、東南アジア、インド亜大陸/南アジア、中南米、カリブ海諸国において流行を繰り返しているほか、アフリカ、オセアニア、オーストラリアでも発生がみられる。現在、日本国内にはデングウイルスは常在していないため、国内での感染はないが、媒介蚊であるヒトスジシマカは国内にも生息しており、流行地で感染した者や航空機内の感染蚊などによってウイルスが持ち込まれ、日本においても流行を起こす可能性がある。

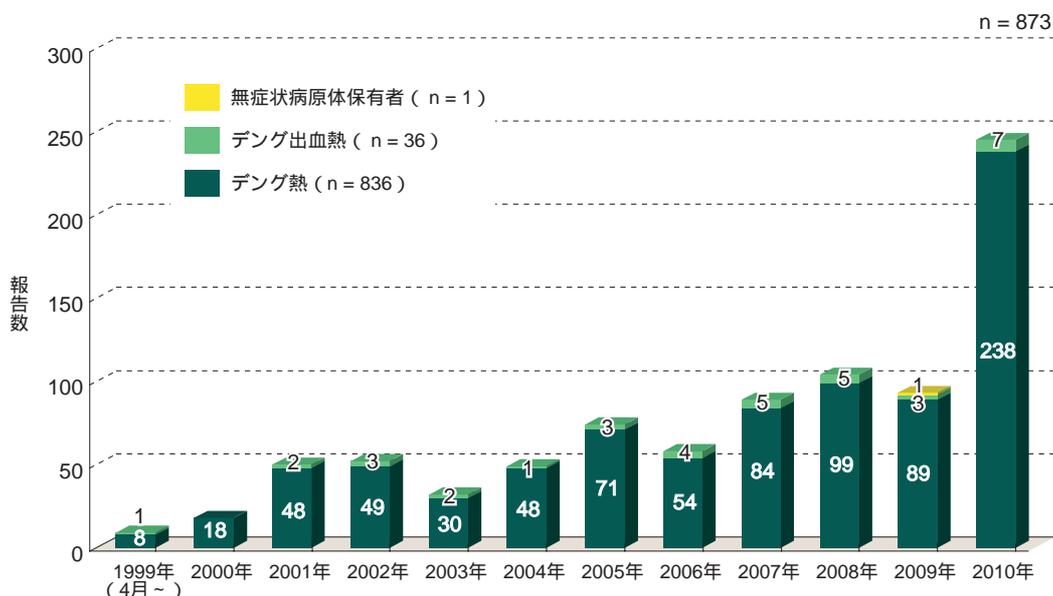
デング熱は一過性の熱性疾患であるデング熱(狭義)と、重症型のデング出血熱に分けられる。また不顕性感染も多いと推測されている。感染後3 ~ 8日の潜伏期を経て発熱で発症し、頭痛、眼窩痛、筋肉痛、関節痛を伴う。発症3 ~ 4日後から胸部、体幹に発疹が出現し、四肢、顔面へ広がる。これらの症状は通常、1週間程度で消失する。一方、デング出血熱では、デング熱(狭義)とほぼ同様に発症するが、発症2 ~ 7日後の解熱し始めた頃に、血漿漏出による浮腫や胸水などの症状と点状出血、消化管出血などの出血症状が出現する。致死率は治療を受ける国の医療状況により差があるが、1 ~ 数%といわれている。

デングウイルスは1 ~ 4型の4つの血清型に分類され、1つの型に感染した場合、その型に対しては終生、防御免疫を獲得するが、他の型に対する交差防御免疫は数カ月で消失し、その後は感染し得る。デング出血熱の発症機序は未だ解明されたとはいえないが、過去に感染した型とは異なる型のウイルスに感染した時に出血熱になる危険性が高いとされている。

デング熱(デング出血熱を含む)の発生動向については、1999年4月の感染症法の施行により、四類感染症に規定され、診断したすべての医師に届出が義務づけられている。

感染症法のもとで2010年までに報告されたデング熱は1999年(4月 ~)9例、2000年18例、2001年50例、2002年52例、2003年32例、2004年49例、2005年74例、2006年58例、2007年89例、2008年104例、2009年93例、2010年245例であった(図1)。2007年以降にやや増加を示した後、2010

図1. デング熱の病型別・年別報告数(1999年 4月 ~ 2010年)

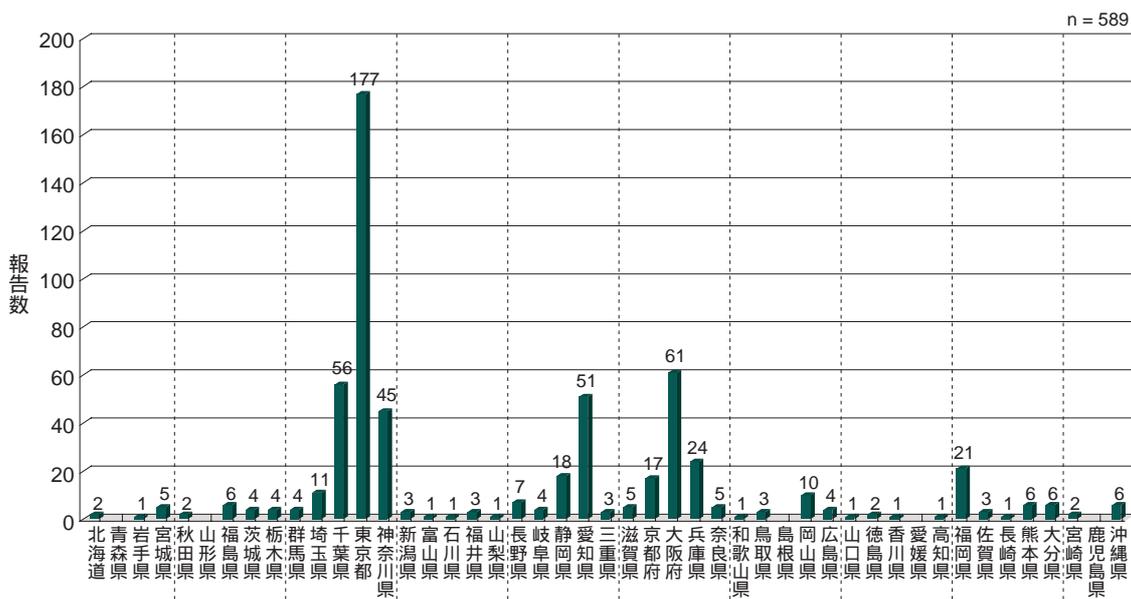


年は2009年の2.5倍以上と著しい増加がみられた。日本における年毎の報告数の変動は、渡航先の流行状況が反映されていると思われる。また、全数把握疾患であることへの認識の向上や、検疫所における検査体制の整備などの影響による増加も考えられる。デング出血熱は、1999年4月~2010年に報告された873例のうち、36例(4.1%)であった。死亡の届出は2005年に1例あり、スリランカで感染したデング出血熱の日本人男性であった(IASR Vol.27, No.1, p14-15 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/27/311/kj3111.html>)。死亡の報告については、感染症法下では届出は原則診断時のみとなっているため、届出以降の死亡は把握されていない可能性がある(届出医の方々には、届出後の死亡について保健所で追加修正できるよう、保健所にご連絡いただきたい)。

都道府県別報告状況 : 2006 ~ 2010年に診断され、報告された589例の都道府県別報告数は、東京都177例、大阪府61例、千葉県56例、愛知県51例、神奈川県45例、兵庫県24例、福岡県21例の順に多かった(図2)。

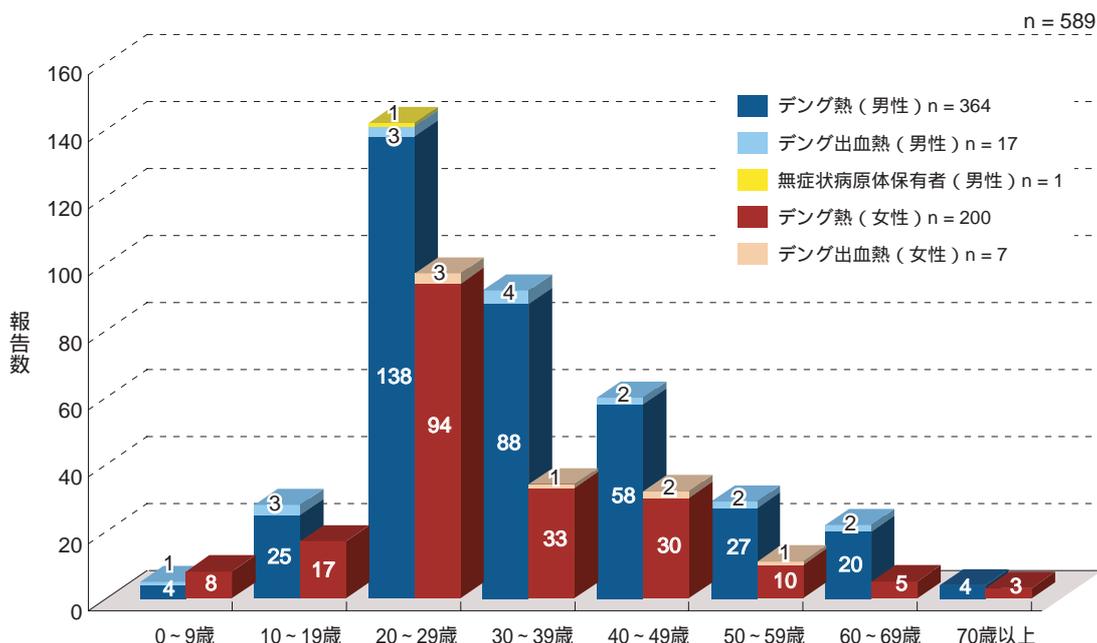
なお、2006年4月以降は届出を行った医療機関が把握できるようになっており、2010年までの期間における検疫所・支所からの届出は85例(成田空港38、中部空港15、関西空港30、福岡空港2)あり、この期間の報告総数581例の14.6%を占めた。

図2. デング熱の都道府県別報告数(2006 ~ 2010年)



性・年齢分布 : 589例の性別は男性382例、女性207例であった。年齢中央値は29歳(範囲8カ月～90歳) 男性では31歳(範囲8カ月～90歳) 女性では28歳(範囲2～78歳) であり、年齢群別では20代239例(40.6%) が最も多く、次いで30代126例(21.4%)、40代92例(15.6%) であった(図3)。男女別にみても、この順に多かった。デング出血熱24例に限ってみると、性別は男性17例、女性7例で、年齢中央値は32歳(範囲1～64歳) であった。

図3. デング熱の男女別・病型別・年齢群別報告数(2006～2010年)



感染地域・感染国 : 589例の感染地域(確定または推定として報告されている) をみると、アジア539例、南米15例、オセアニア14例、中米7例、アフリカ7例、カリブ海諸国6例、中東1例で、アジアが全体の91.5%を占めた(表1)。国別ではインドネシア146例、インド90例、フィリピン83例、タイ64例、ベトナム26例、マレーシア24例、カンボジア20例が多かった(表1)。2010年に報告数が急増したが、特にインドネシア、インド、フィリピン、タイの報告が多く、カンボジア、ラオスでも増加がみられた。また、日本からの渡航者における罹患状況を把握するために、住所が日本国内のもの*574例に限ってみても、感染地域・感染国は同様の傾向であった(表2) (*住所が報告されていなかった2006年3月までは、最近数年間の主な居住地が国内と報告されたものとした。なお、逆に2006年4月からは最近数年間の主な居住地は報告されなくなったため、住所が国内の中には海外からの移住者が一部含まれている可能性もある)。

また、デング出血熱24例に限ると、感染国は、インドネシア5例、フィリピン4例、タイ、ベトナム、ミャンマー、モルディブが各2例、インド、カンボジア、コロンビア、シンガポール、ブラジル、ベネズエラ、インドネシアまたは中国または台湾が各1例であった。24例のうち住所が日本国内の者は22例で、このうち1例はインドネシアに留学中、1例はベネズエラ在住であった。住所が国内でない2例では、1例は発病の10日前までフィリピン在住、もう1例はシンガポール在住時の感染と報告されていた。いずれも過去の感染歴に関する情報は得られていない。

表1. デング熱の感染地域・感染国(2006～2010年)

n = 589

地域	国	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	総計	
アジア 539例	東南アジア	インドネシア	9	22 (3)	15 (1)	22	78 (1)	146 (5)
		フィリピン	15 (1)	14	11	9	34 (2)	83 (3)
		タイ	8	5 (3)	17 (4)	6 (1)	28 (6)	64 (14)
		ベトナム	2 (1)	3 (1)	7 (2)	9 (1)	5 (4)	26 (9)
		マレーシア	3	3	5 (1)	9	4 (1)	24 (2)
		カンボジア	0 (1)	5 (3)	3 (1)	2 (1)	10 (2)	20 (8)
		ラオス	0	1	0 (1)	1 (2)	10 (7)	12 (10)
		シンガポール	0	1	3	1	1	6
		東ティモール	2	1	0	1	1	5
	複数国	1	4	3	2	9	19	
	インド亜大陸/ 南アジア	インド	8	8 (1)	19 (4)	15	40 (3)	90 (8)
		バングラデシュ	1	3	1	1	4 (1)	10 (1)
		スリランカ	0	1	0 (1)	3	2 (2)	6 (3)
		ミャンマー	1	1	2	2	0	6
		モルディブ	1	0	2 (1)	0	1	4 (1)
		ネパール	0	2	0 (1)	0	0 (1)	2 (2)
		パキスタン	0	0	0 (1)	0	1	1 (1)
		複数国	0	0	3	0	2	5
	東アジア	台湾	0	1 (1)	0 (1)	0	0	1 (2)
		韓国	0	0	0	0	0 (1)	0 (1)
		中国	0	0 (1)	0	0	0 (1)	0 (2)
		香港	0	0	0 (1)	0	0	0 (1)
		モンゴル	0	0	0	0	0 (1)	0 (1)
		上記2地域にわたる複数国	0	2	3	0	4	9
	南米 15例	ブラジル	3	2	0	0	2	7
		ボリビア	0	1	1	2	0	4
		コロンビア	0	0	0	0	2	2
ベネズエラ		0	0	0	0	1	1	
パラグアイ		0	0	0	0	1	1	
オセアニア 14例	サモア	2	1	1	0	0	4	
	ソロモン諸島	0	1	1	0	0	2	
	ツバル	0	0	2	0	0	2	
	トンガ	0	0	1	1	0	2	
	パプアニューギニア	0	0	1	1	0	2	
	オーストラリア	0	0	0	1	0	1	
	バヌアツ	0	0	0	1	0	1	
中米 7例	メキシコ	0	1	0	1	0	2	
	グアテマラ	0	1	0 (1)	0	0	1 (1)	
	ドミニカ	1	0	0	0	0	1	
	パナマ	0	0	0	1	0	1	
	ホンジュラス	0	1	0 (1)	0	0	1 (1)	
	複数国	0	0	1	0	0	1	
アフリカ 7例	中央アフリカ	スーダン	1	0	0	0	0	1
	東アフリカ	タンザニア	0	0	0	0	3	3
	西アフリカ	コートジボワール	0	0	1	0	0	1
		ベナン	0	0	0	0	1	1
		マリ	0	0	0	1	0	1
カリブ海諸国 6例	ジャマイカ	0	4	1	0	0	5	
	バルバドス	0	0	0	0	1	1	
中東 1例	イエメン	0	0	0	1	0	1	
合計		58	89	104	93	245	589	

()内は複数国名記載症例数の別掲

表2. 日本からの渡航者におけるデング熱の感染地域・感染国(2006～2010年)

日本からの渡航者は、2006年3月までは最近数年間の主な居住地が日本国内のもの、
2006年4月以降は住所地が日本国内のものとした

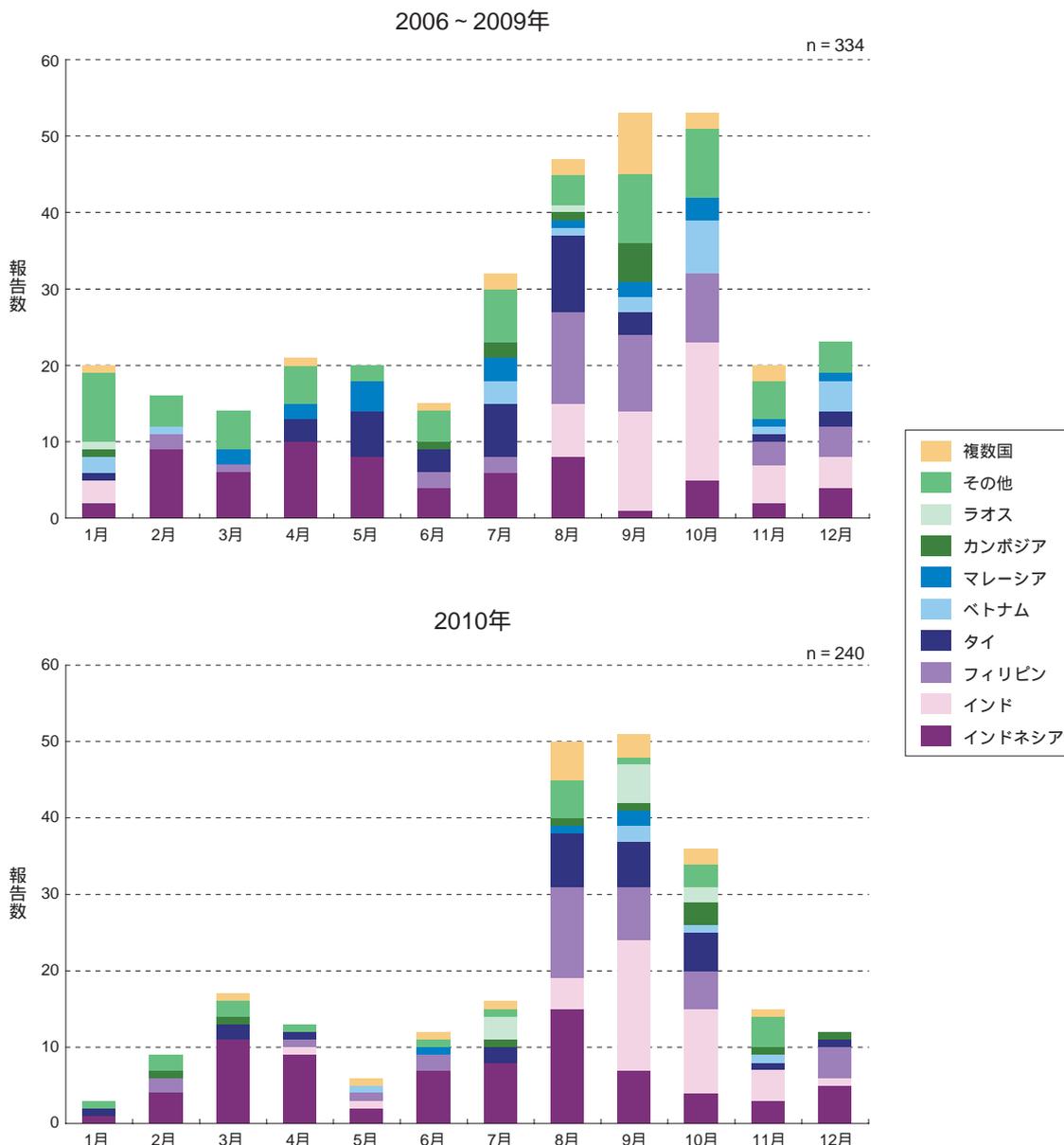
n = 574

地域	国	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	総計	
アジア 524例	東南アジア	インドネシア	7	22 (3)	15 (1)	21	76 (1)	141 (5)
		フィリピン	12 (1)	14	10	9	34 (2)	79 (3)
		タイ	8	5 (3)	17 (4)	6 (1)	26 (6)	62 (14)
		ベトナム	2 (1)	3 (1)	7 (2)	9 (1)	5 (4)	26 (9)
		マレーシア	3	3	5 (1)	8	4 (1)	23 (2)
		カンボジア	0 (1)	5 (3)	3 (1)	2 (1)	10 (2)	20 (8)
		ラオス	0	1	0 (1)	1 (2)	10 (7)	12 (10)
		シンガポール	0	1	2	1	1	5
		東ティモール	1	1	0	1	1	4
	複数国	1	4	3	2	9	19	
	インド亜大陸/ 南アジア	インド	8	8 (1)	19 (4)	15	39 (3)	89 (8)
		バングラデシュ	1	3	1	1	4 (1)	10 (1)
		スリランカ	0	1	0 (1)	3	2 (2)	6 (3)
		ミャンマー	1	1	2	2	0	6
		モルディブ	1	0	2 (1)	0	1	4 (1)
		ネパール	0	2	0 (1)	0	0 (1)	2 (2)
		パキスタン	0	0	0 (1)	0	1	1 (1)
		複数国	0	0	3	0	2	5
	東アジア	台湾	0	1 (1)	0 (1)	0	0	1 (2)
		韓国	0	0	0	0	0 (1)	0 (1)
		中国	0	0 (1)	0	0	0 (1)	0 (2)
		香港	0	0	0 (1)	0	0	0 (1)
		モンゴル	0	0	0	0	0 (1)	0 (1)
上記2地域にわたる複数国	0	2	3	0	4	9		
南米 15例	ブラジル	3	2	0	0	2	7	
	ボリビア	0	1	1	2	0	4	
	コロンビア	0	0	0	0	2	2	
	ベネズエラ	0	0	0	0	1	1	
	パラグアイ	0	0	0	0	1	1	
オセアニア 14例	サモア	2	1	1	0	0	4	
	ソロモン諸島	0	1	1	0	0	2	
	ツバル	0	0	2	0	0	2	
	トンガ	0	0	1	1	0	2	
	パプアニューギニア	0	0	1	1	0	2	
	オーストラリア	0	0	0	1	0	1	
	バヌアツ	0	0	0	1	0	1	
中米 7例	メキシコ	0	1	0	1	0	2	
	グアテマラ	0	1	0 (1)	0	0	1 (1)	
	ドミニカ	1	0	0	0	0	1	
	パナマ	0	0	0	1	0	1	
	ホンジュラス	0	1	0 (1)	0	0	1 (1)	
	複数国	0	0	1	0	0	1	
アフリカ 7例	中央アフリカ	スーダン	1	0	0	0	0	1
	東アフリカ	タンザニア	0	0	0	0	3	3
	西アフリカ	コートジボワール	0	0	1	0	0	1
		ベナン	0	0	0	0	1	1
		マリ	0	0	0	1	0	1
カリブ海諸国 6例	ジャマイカ	0	4	1	0	0	5	
	バルバドス	0	0	0	0	1	1	
中東 1例	イエメン	0	0	0	1	0	1	
合計		52	89	102	91	240	574	

() 内は複数国名記載症例数の別掲

月別発生状況：報告数の急増した2010年とそれ以前に分けて、日本からの渡航者*報告例の診断月を主な感染国別にみた(*: 同上)。2010年は例年に比べ報告数が大きく増加したが、報告数の多い月(季節)はそれ以前と同様の傾向であり、いずれも8～10月が多かった(図4)。感染国別にみると、インドネシアでの感染者は年間を通じ認められており、また、インドは9～10月、フィリピンは8～10月、タイは8月が比較的多かった(図4)。夏休みなどの休暇を利用した渡航者の増加や、地域での流行時期などが影響していると推測された。

図4. 日本からの渡航者におけるデング熱の診断月別・感染国別報告数



症状：届出票が疾患毎に個別のものとなり、症状の記載方法が変更された(自由記載形式から主な症状が選択形式となった) 2006年4月以降に報告のあった581例の症状をみた。出血熱患者(24例)、無症状病原体保有者(1例)を除く556例では、発熱551例(99.1%) (うち、2日以上続く発熱423例)、血小板減少369例(66.4%) (うち、100,000/mm³以下の血小板減少257例)、頭痛320例(57.6%)、白血球減少308例(55.4%)、発疹293例(52.7%)が過半数でみられ、以下、骨関節痛173例、全身の筋肉痛162例、血清蛋白の低下28例、Tourniquetテスト陽性22例、出血22例、ヘマトクリットの上昇(補液なしで、同性、同年代の者に比べ20%以上の上昇)16例、胸水5例、腹水5例が報告された。出血熱患者24例では、届出基準に基づき、2日以上続く発熱および100,000/mm³以下の血小板減少は全例で報告され、血管透過性の亢進の指標としてはヘマトクリットの上昇(補液なしで、同性、同年代の者に比べ20%以上の上昇)7例、ショック症状5例、血清蛋白の低下18例、胸水3例、腹水4例(複数回答有り)が、また出血傾向の指標としてTourniquetテスト陽性3例、出血21例が報告された。

診断方法：589例の診断方法(複数記載を含む)は、分離・同定による病原体検出が60例、PCR法による病原体の遺伝子の検出295例、血清IgM抗体の検出346例、ペア血清での中和試験または赤血球凝集阻止法による抗体の陽転または抗体価の有意上昇14例、またその他の方法として抗原検出35例などが報告された(表3)。

デングウイルスの血清型別は270例で報告され、年毎の血清型報告率は、2006年27/58例(46.6%)、2007年35/89例(39.3%)、2008年56/104例(53.8%)、2009年38/93例(40.9%)、2010年114/245例(46.5%)であった。血清型の内訳では1型83例、2型81例、3型80例、4型26例であった(表4)。報告されたものに限っては、主な感染国別でみると、インドネシアでは1~4型いずれも報告され、インドでは4型の報告は1例のみで、タイでは4型の報告はなかった。フィリピンでは3型が、ラオスでは2型が多かった。また、デング出血熱24例では、11例で血清型の報告があり、1型3例(感染国はインドネシア、フィリピン、シンガポール各1例)、2型1例(ミャンマー)、3型6例(モルディブ2例、インドネシア、フィリピン、ブラジル、ベトナム各1例)、4型1例(ベネズエラ)であった。

表3. デング熱の診断方法(2006~2010年)

n = 589 (複数回答有り)

病原体検出	
分離・同定	60
検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出	295
血清抗体検出	
IgM抗体の検出	346
ペア血清による中和抗体の陽転または抗体価の有意上昇	6
ペア血清による赤血球凝集抗体の陽転または抗体価の有意上昇	8
その他の方法	
抗原検出	35

表4. デング熱報告症例におけるデングウイルスの感染地域・感染国別血清型

n = 270

地域		国	1型	2型	3型	4型	総計
アジア 242例	東南アジア	インドネシア	20 (2)	19	15	12	66 (2)
		タイ	12 (2)	11 (3)	6 (2)	0	29 (7)
		フィリピン	3 (1)	5	16	3	27 (1)
		マレーシア	4	6	2	1 (1)	13 (1)
		ベトナム	7 (3)	2 (1)	2	1	12 (4)
		カンボジア	1 (1)	3 (1)	3 (2)	1	8 (4)
		ラオス	1	5 (5)	1	0	7 (5)
		シンガポール	1	2	0	0	3
		東ティモール	2	1	0	0	3
		複数国	3	4	2	0	9
	インド亜大陸/ 南アジア	インド	16 (1)	11 (1)	15	1	43 (2)
		バングラデシュ	1	2	2	0	5
		ミャンマー	0	1	2	1	4
		モルディブ	1	1 (1)	2	0	4 (1)
		スリランカ	0 (1)	1 (1)	2	0	3 (2)
		パキスタン	0	1	0	0	1
	東アジア	台湾	0 (1)	0	0	0	0 (1)
		香港	0	0 (1)	0	0	0 (1)
		韓国	0	0	0	0 (1)	0 (1)
上記2地域にわたる複数国			2	2	0	1	5
南米 8例		ブラジル	2	0	2	0	4
		コロンビア	1	0	0	0	1
		パラグアイ	1	0	0	0	1
		ベネズエラ	0	0	0	1	1
		ボリビア	0	0	1	0	1
オセアニア 8例		サモア	2	1	0	0	3
		バブアニューギニア	0	1	1	0	2
		ソロモン諸島	0	0	0	1	1
		ツバル	0	0	0	1	1
		トンガ	0	0	0	1	1
中米 5例		グアテマラ	1 (1)	0	0	0	1 (1)
		ドミニカ	0	0	1	0	1
		パナマ	0	0	1	0	1
		メキシコ	1	0	0	0	1
		ホンジュラス	0 (1)	0	0	0	0 (1)
		複数国	1	0	0	0	1
アフリカ 3例	東アフリカ	タンザニア	0	0	2	0	2
	西アフリカ	コートジボワール	0	0	1	0	1
カリブ海諸国 3例		ジャマイカ	0	2	0	1	3
中東 1例		イエメン	0	0	1	0	1
合計			83	81	80	26	270

() 内は複数国名記載症例数の別掲

前述したように、異なる血清型の Dengue ウイルスに再感染することにより Dengue 出血熱へのリスクが高くなる可能性を考えると、渡航者への注意喚起として、感染したウイルスの血清型や地域に流行している Dengue ウイルス血清型を知っておくことは有用と思われるが、実際には、前者については診療には必ずしも必要でないことから実施されないことが多く、後者については流行地域での Dengue 熱ウイルスサーベイランスの実施状況にも左右され困難な場合が少なくないと考えられる。

Dengue 熱の治療としては、抗 Dengue ウイルス薬は存在せず、疾患特異的な治療法はなく、輸液や鎮痛解熱剤などの対症療法となる。鎮痛解熱剤には出血傾向やアシドーシスを助長することから Dengue 熱の治療には禁忌とされるものもある。帰国時に発熱などの症状がある場合には検疫所に相談すること、帰国後に症状を認めた場合には速やかに医療機関を受診し、医師に渡航歴を伝えることが重要である。予防については、ワクチンは開発中であり現在使用可能ではないため、最も重要で簡便な予防法として、熱帯・亜熱帯地域への渡航に際して現地での Dengue 熱の流行状況を正確に把握すること、長袖・長ズボンの着用、昆虫忌避剤の使用などによって蚊に刺されないよう注意することが重要である。



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載しています。

インフルエンザ

2011年6月3日 - 更新135

【要約】

- ・インフルエンザシーズンは北半球の温帯地域諸国ではほぼ終息し、ほとんどの国々でインフルエンザの活動性は確認できないか極めて低いレベルである。
- ・アメリカ地域およびサハラ以南地域の熱帯地域諸国では、インフルエンザの活動性が減少し続けている。
- ・南アフリカ共和国では、インフルエンザシーズンの開始にともないインフルエンザウイルスA (H1N1) 2009の検出報告が増加している。他の南半球の温帯地域諸国ではインフルエンザシーズンは始まっていないようである。
- ・北半球のインフルエンザシーズンのレビュー記事は、WER(Weekly Epidemiological Record) に掲載されている。

【北半球の温帯地域諸国】

北半球の温帯地域諸国においては、インフルエンザの活動性は低下し、極めて低いレベルで、流行間期にある。散発的なインフルエンザウイルスの検出報告はあるが、アウトブレイクのような活動性は報告されていない。

【熱帯地域諸国】

熱帯地域諸国では、前回更新から地域限局的なインフルエンザの活動性は報告されているものの極めて低いレベルである。ドミニカ共和国ではインフルエンザの活動性は持続しており、インフルエンザウイルスA(H1N1) 2009の検出報告がある。ジャマイカではインフルエンザウイルスB型が大部分でA(H1N1) 2009も少数報告されている。両国ともインフルエンザ報告数は極めて少なく、徐々に減少している。確定情報ではないが、ボリビアで5月末にインフルエンザウイルスA(H1N1) 2009の検出および重症呼吸器感染症の増加が報告されている。南アメリカ地域北部の多くの熱帯地域諸国で、RSウイルス感染による小児の呼吸器感染症(肺炎による入院症例も含む)の増加が報告されている。サハラ以南地域では、以前インフルエンザの報告があったケニアとガーナを含めても、インフルエンザの活動性は極めて低いレベルである。マダガスカルではインフルエンザウイルスB型、A(H3N2) およびA(H1N1) 2009が少数報告されている。アジアの熱帯地域諸国ではインフルエンザの活動性はかなり低いレベルである。

【南半球の温帯地域諸国】

南アフリカ共和国

南アフリカ共和国では、過去4～5週にインフルエンザウイルスの検出報告が増加し、インフルエンザ・シーズンに入ったと考えられる。大部分はインフルエンザウイルスA(H1N1) 2009で、少数のインフルエンザウイルスA(H3N2)が報告されている。

オーストラリア、ニュージーランド、および南太平洋諸国

これらの諸国では、いまだインフルエンザシーズンは始まっていない。オーストラリアでは過去に季節外れのインフルエンザの活動性が報告されたが、インフルエンザウイルスの検出およびイ

インフルエンザ様疾患(ILI)の報告は減少している。ニュージーランドでは、散発的なインフルエンザウイルスの検出報告があり、大部分がインフルエンザウイルスA(H1N1)2009とB型であるが、ILIの週間受診率はベースラインより下回っている。

【ウイルス学的サマリー】

第19 ~ 20週(2011年5月8 ~ 21日)では、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009の検出報告があった南アフリカ共和国を除いて、インフルエンザの活動性は北および南半球の地域諸国では低いレベルであった。インフルエンザウイルスの検出報告は少なく、流行しているインフルエンザウイルスは国々によって様々である。インフルエンザウイルスA(H1N1)2009はアフリカ地域(南アフリカ共和国)や南アメリカ地域(コスタリカ、ドミニカ)で多く報告されている。一方、インフルエンザウイルスA(H3N2)は、ボリビア、キューバ、およびルワンダで報告が多い。カナダ、中国、日本、およびマダガスカルではインフルエンザウイルスB型が少数報告されている。

最近検出報告された大部分のインフルエンザウイルスの抗原性は、2010 ~ 2011シーズンの北半球および2011シーズンの南半球のインフルエンザワクチンWHO推奨株に類似している。

第19 ~ 20週(2011年5月8 ~ 21日)において、74の国と地域の国家インフルエンザセンター(NIC)のFluNetへの報告によれば、インフルエンザ陽性検体総数721のうち、261(36.2%)検体はインフルエンザウイルスA型、460(63.8%)検体はインフルエンザB型であった。インフルエンザウイルスA型のうち、66%はインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、34%がインフルエンザウイルスA(H3N2 型)であった。

鳥インフルエンザ - カンボジアにおける状況

2011年6月10日 - 更新4

カンボジア保健省は、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型の新たな1例のヒト感染症例を報告した。

症例はプレイベン州(Prey Veng Province)カンボン・トラベック地区(Kampong Trabek district)プラサット郡(Prasat commune)プラサット村(Prasat village)の7歳女児で、5月24日発症し地元の開業医の治療を受けたが状態は改善せず、5月31日にカンタボパ小児病院(Kantha Bopha Children Hospital)に入院し、6月7日(入院後7日)に死亡した。

女児の住んでいた村では家禽の死亡事例があり、女児は病気の家禽との接触があったと報告されている。この女児はカンボジアにおける鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型に感染した16例目の症例で、死亡した14例目の症例である。2011年カンボジアにおける鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)亜型のヒト感染症例6例は、全例死亡している。

国及び州の早期対応チーム(Rapid Response Team)が、国の指針に従って疫学調査および事例対応を実施している。



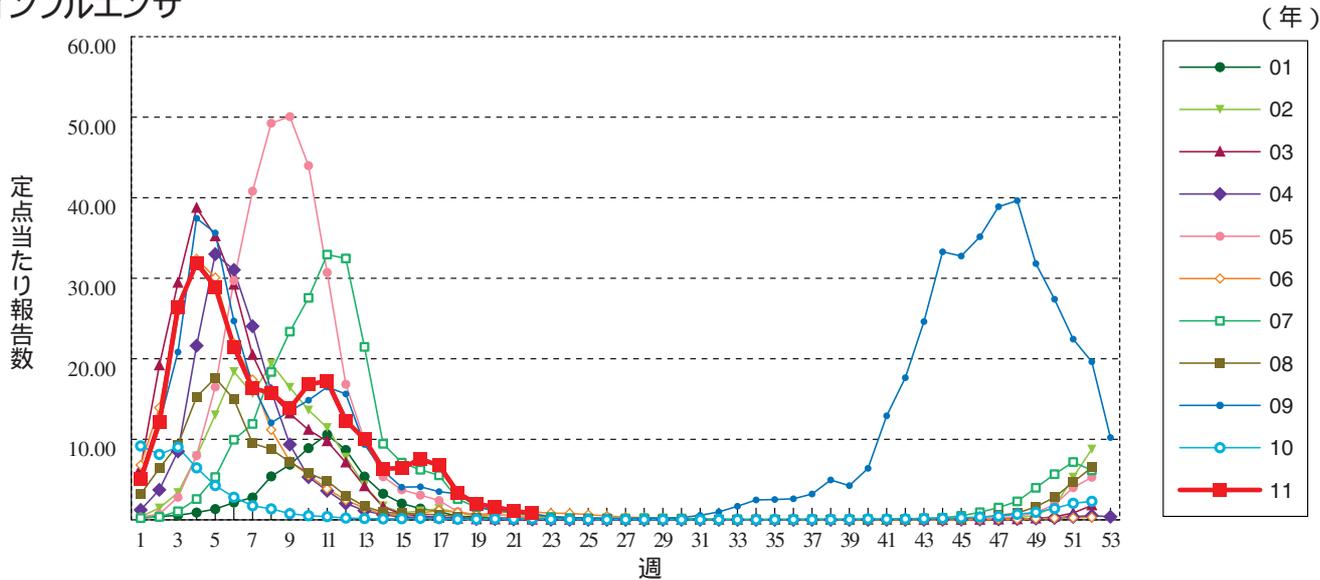
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

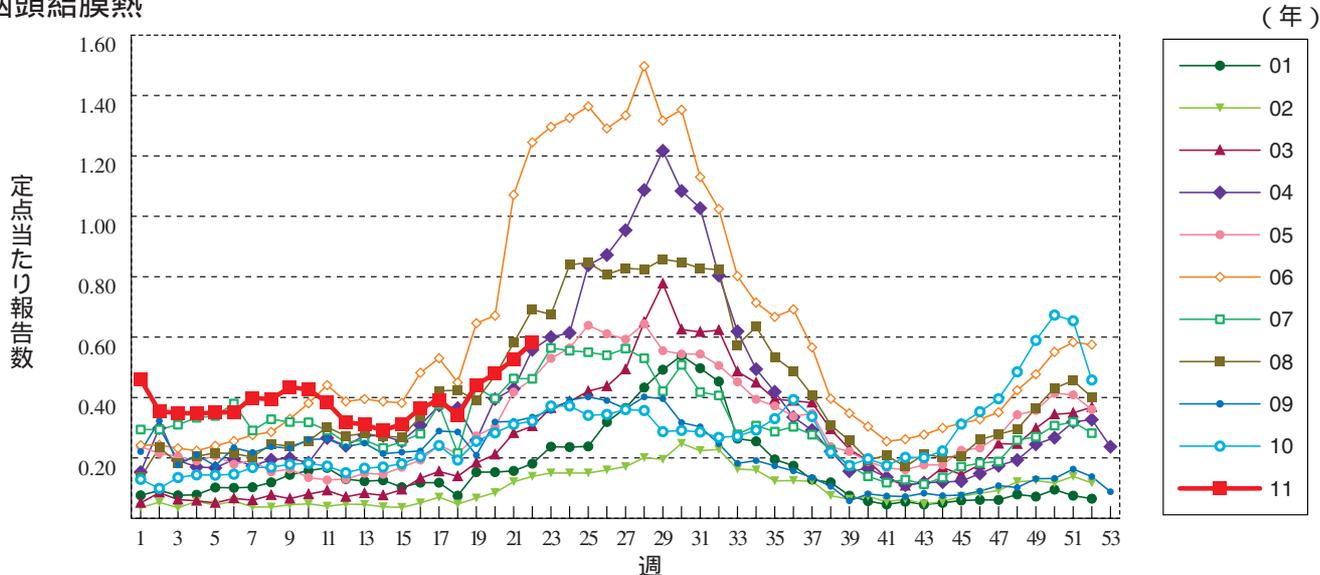


グラフ総覧(22週)

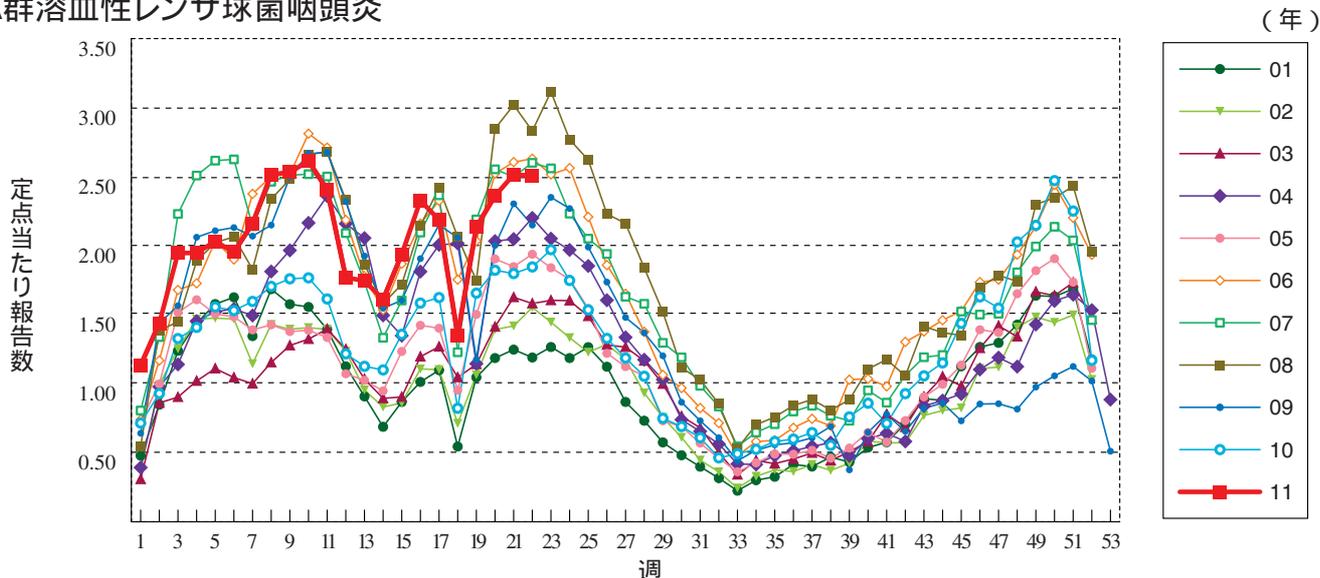
インフルエンザ



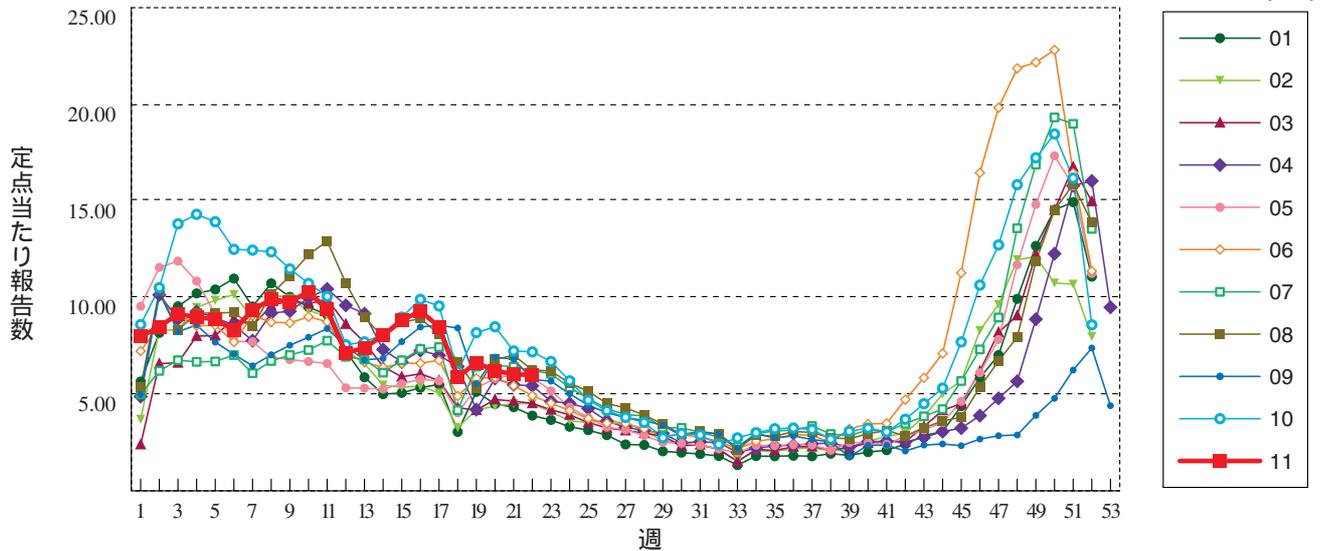
咽頭結膜熱



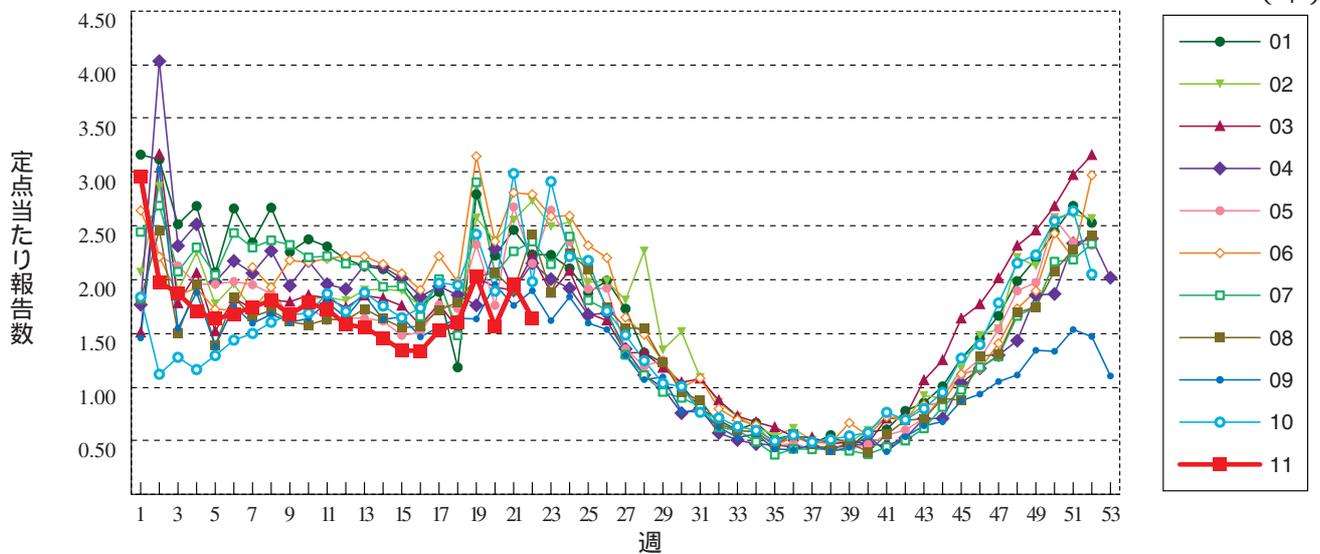
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



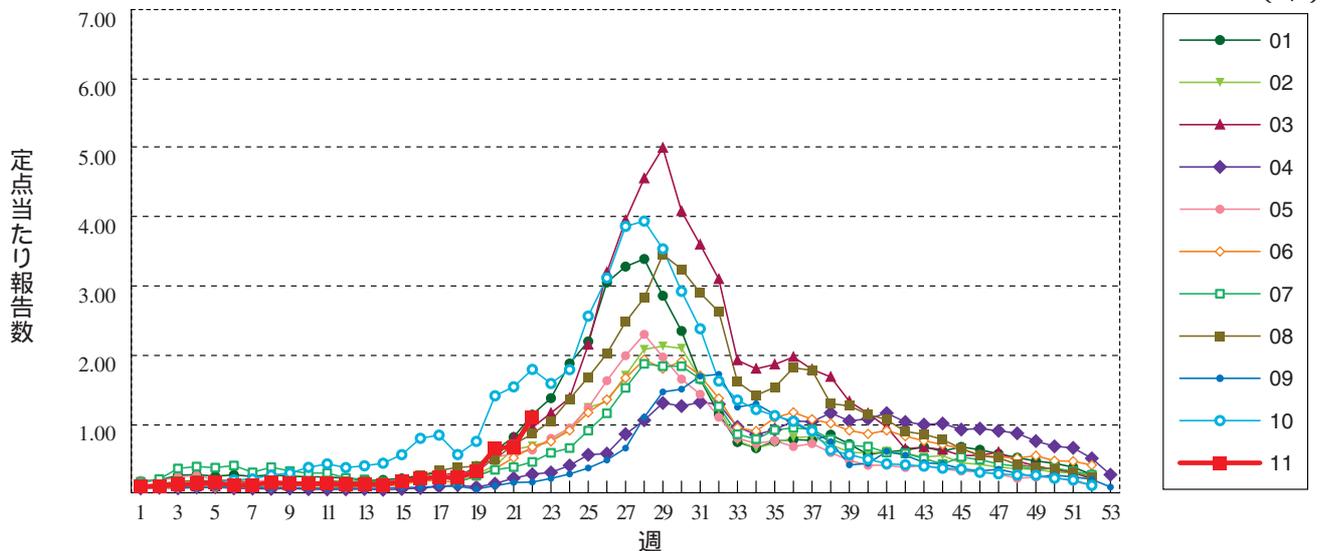
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



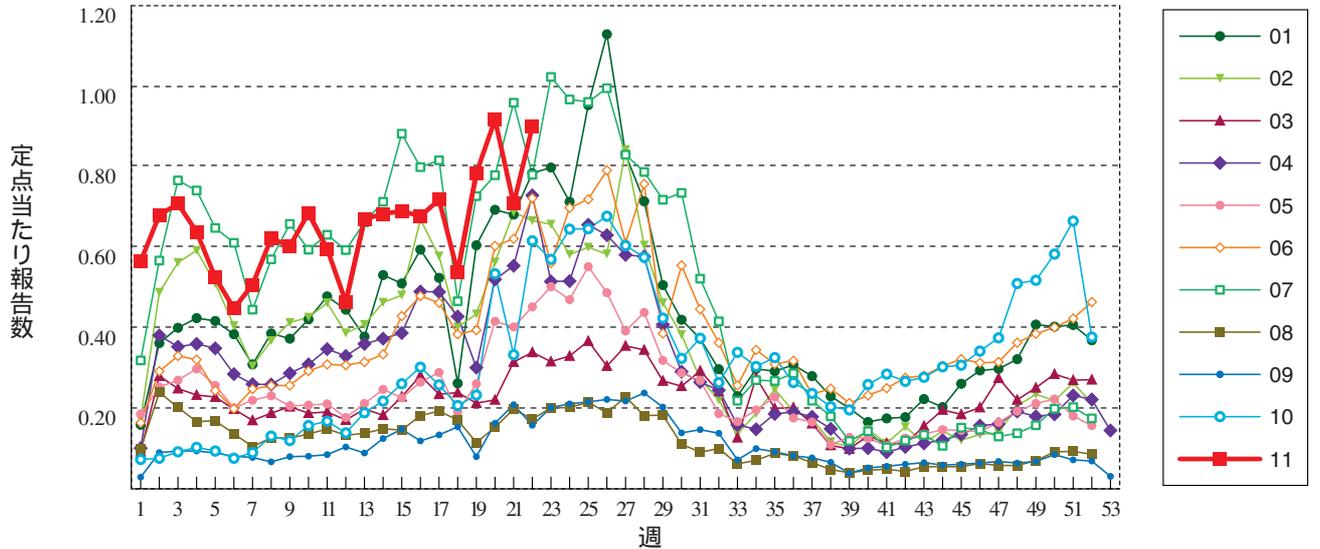
水痘



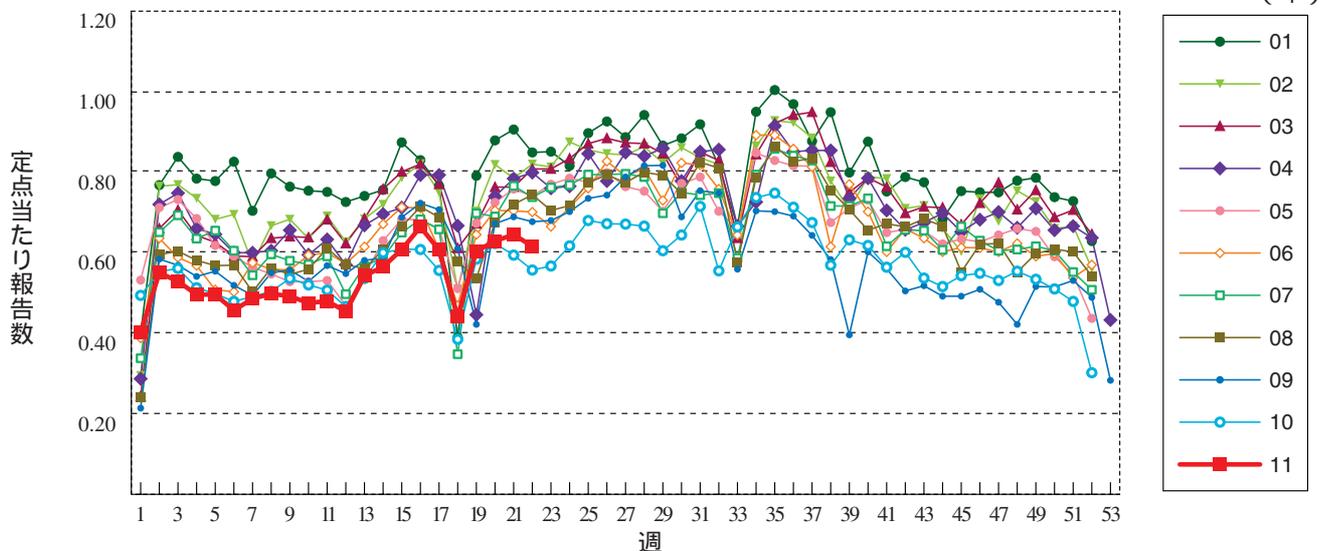
手足口病



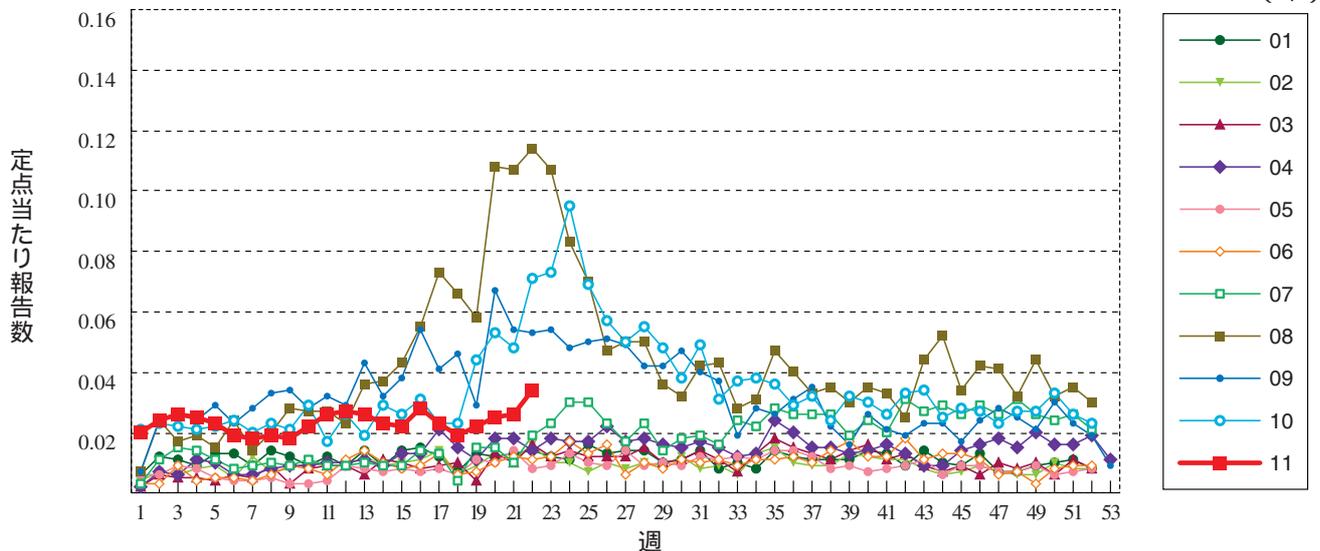
伝染性紅斑



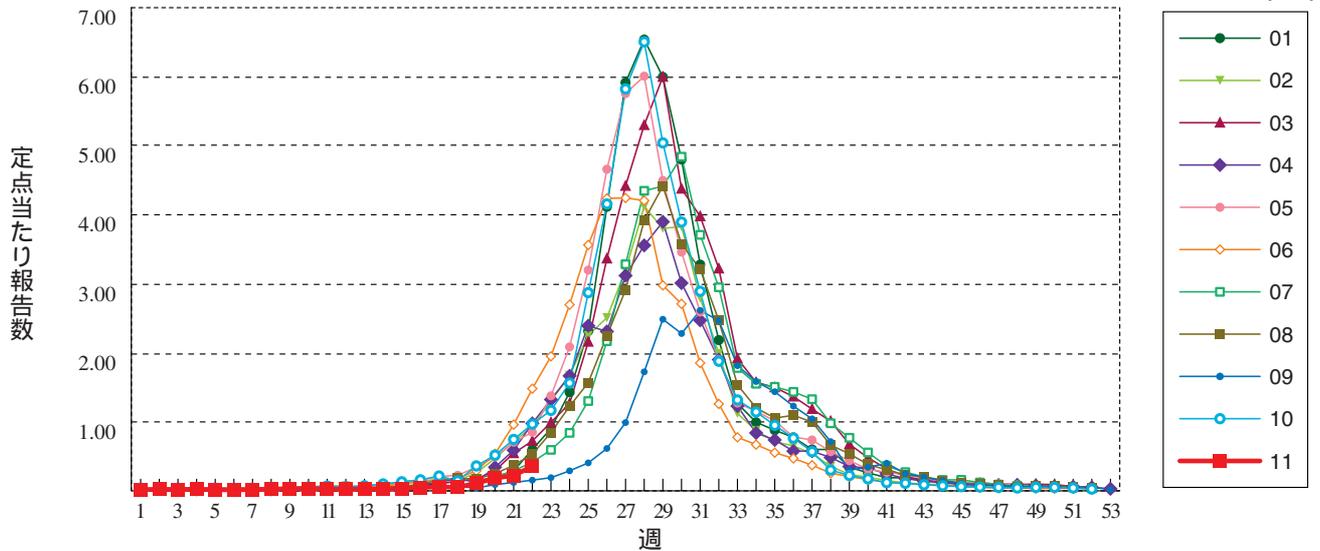
突発性発しん



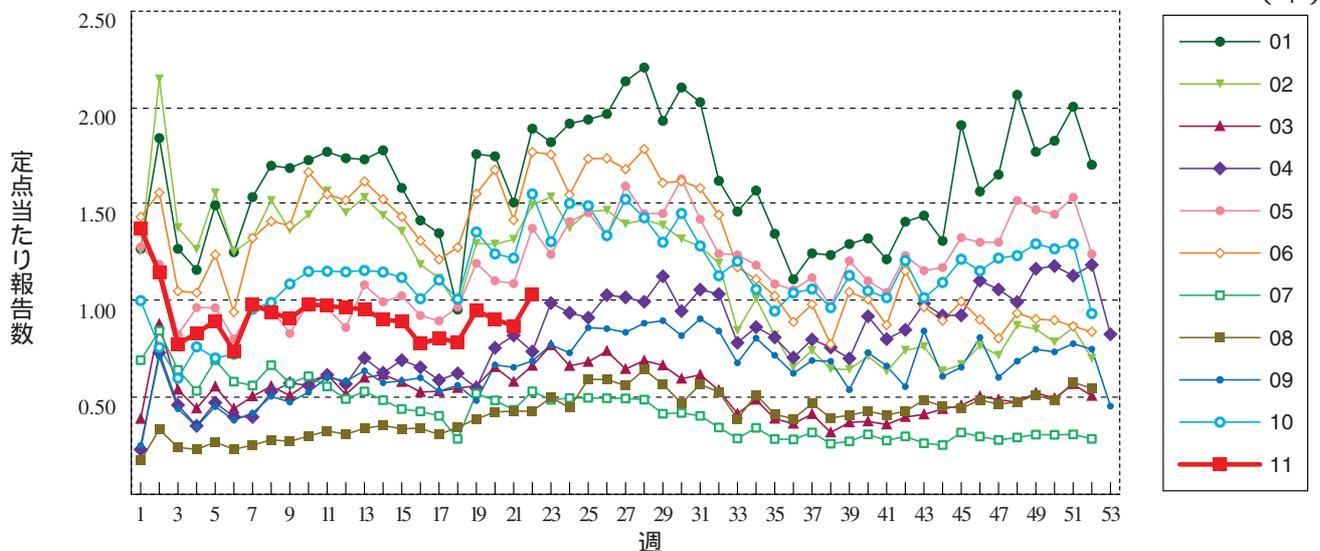
百日咳



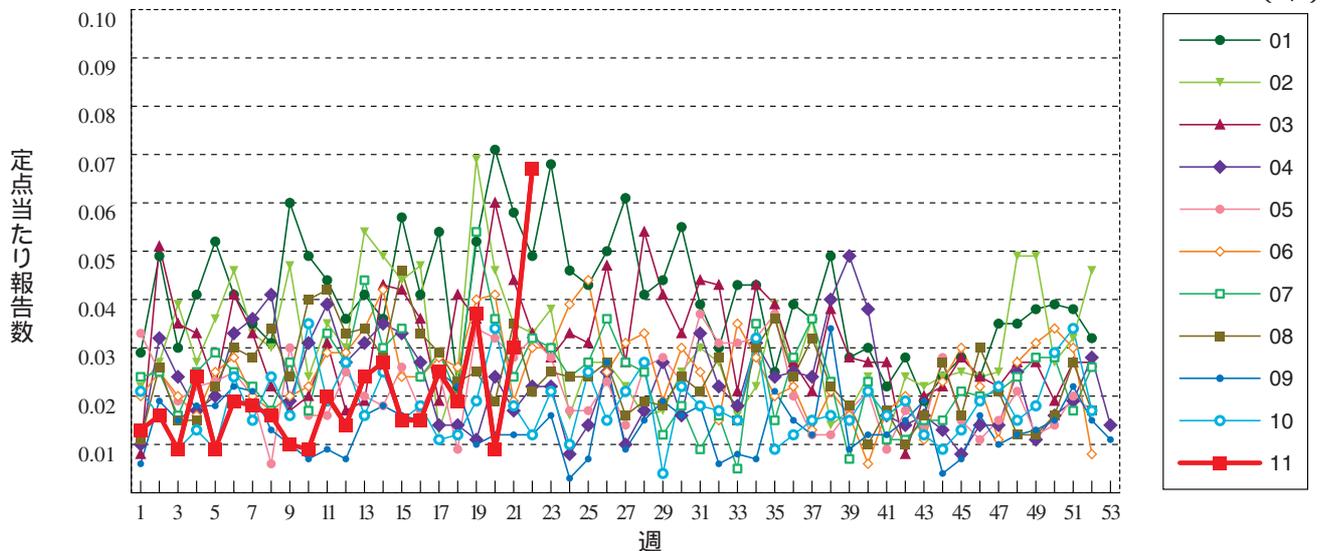
ヘルパンギーナ



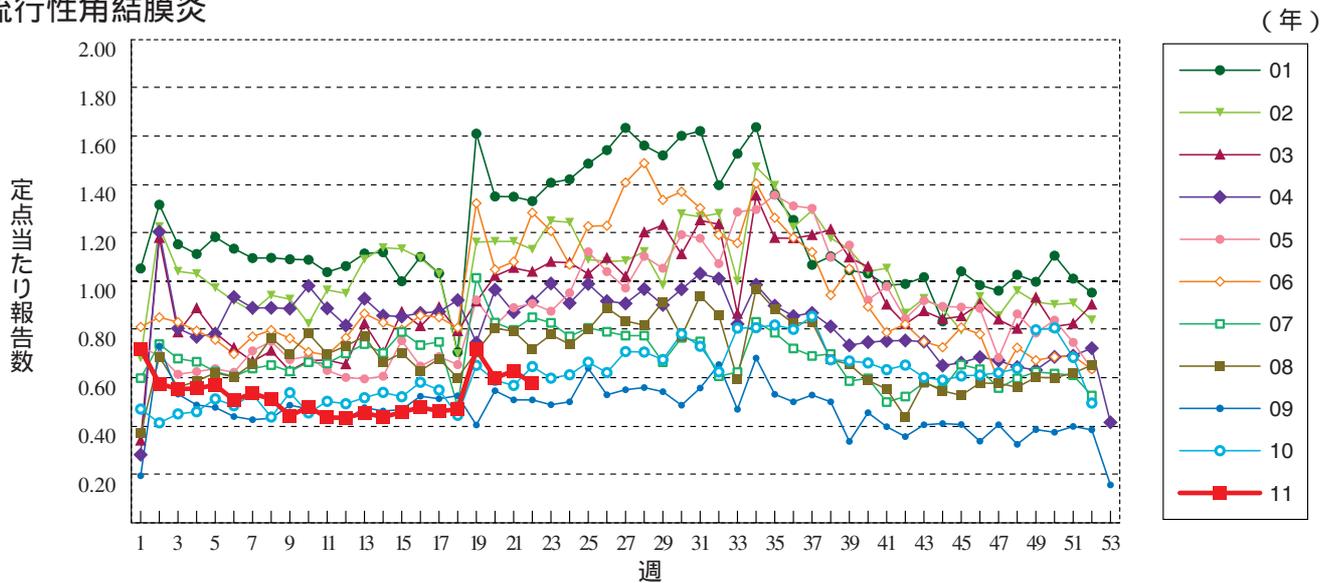
流行性耳下腺炎



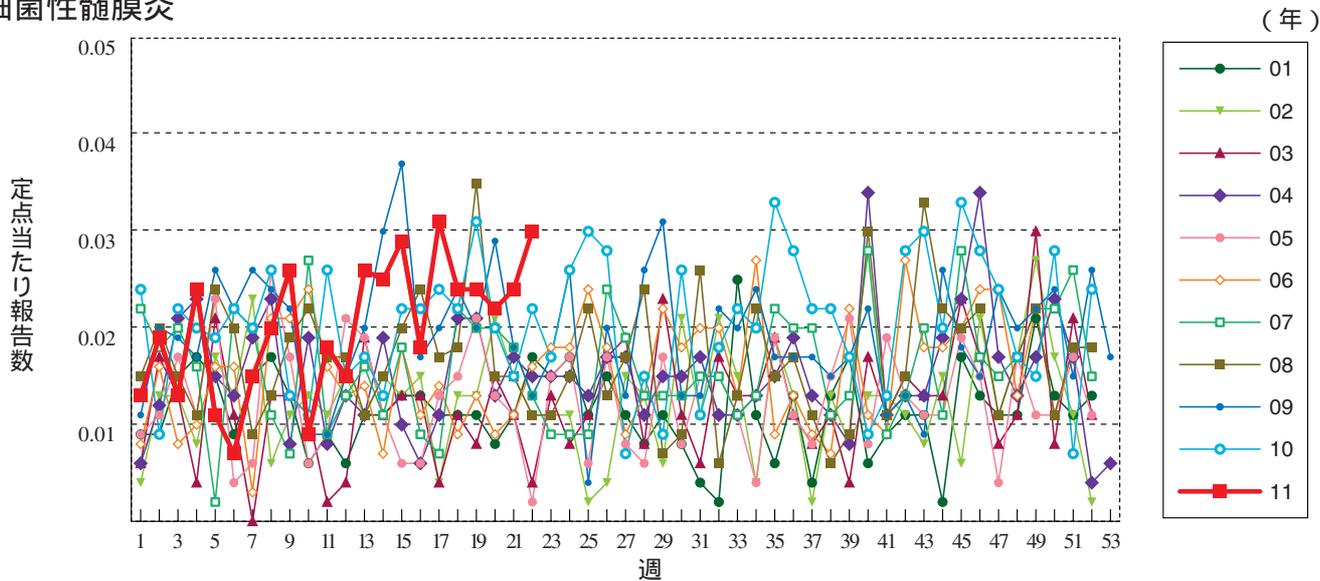
急性出血性結膜炎



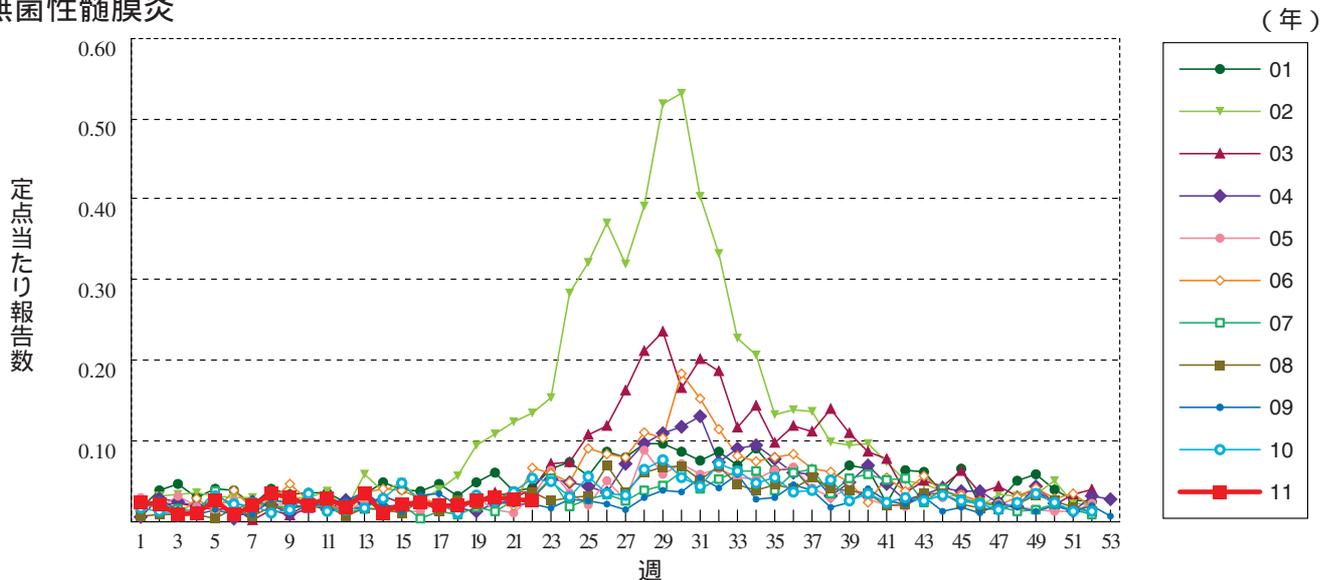
流行性角結膜炎



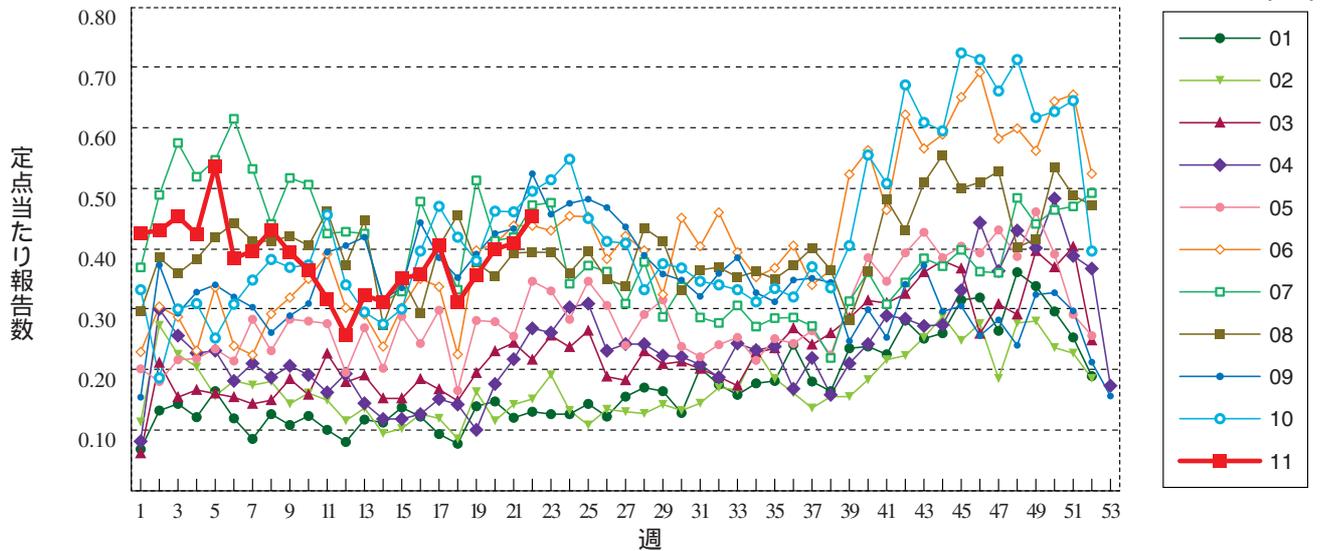
細菌性髄膜炎



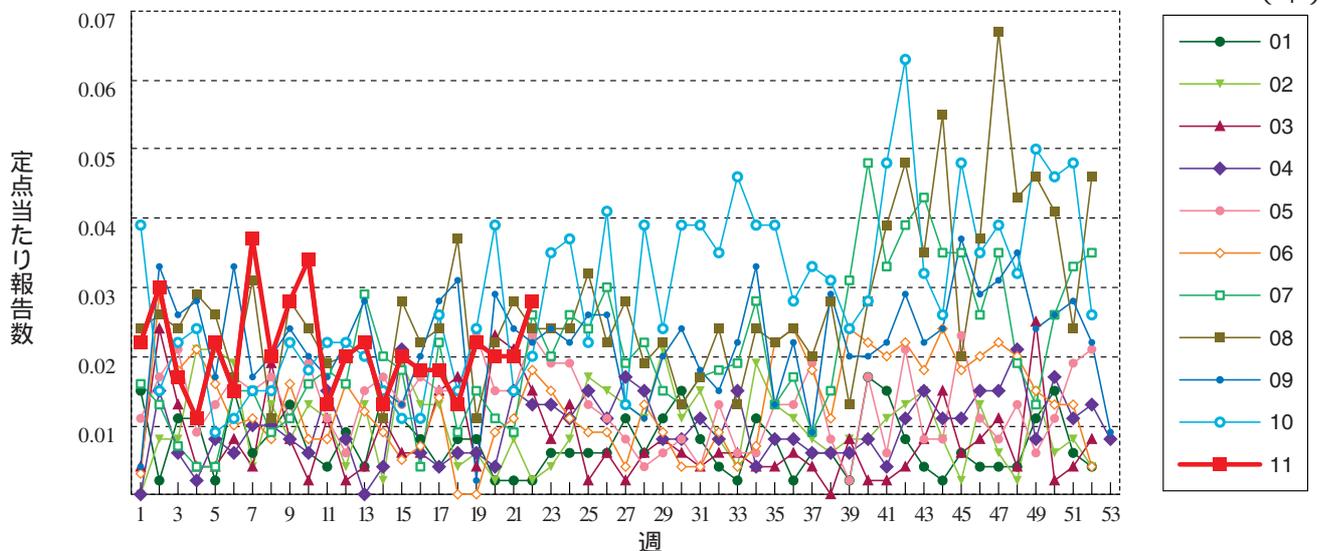
無菌性髄膜炎



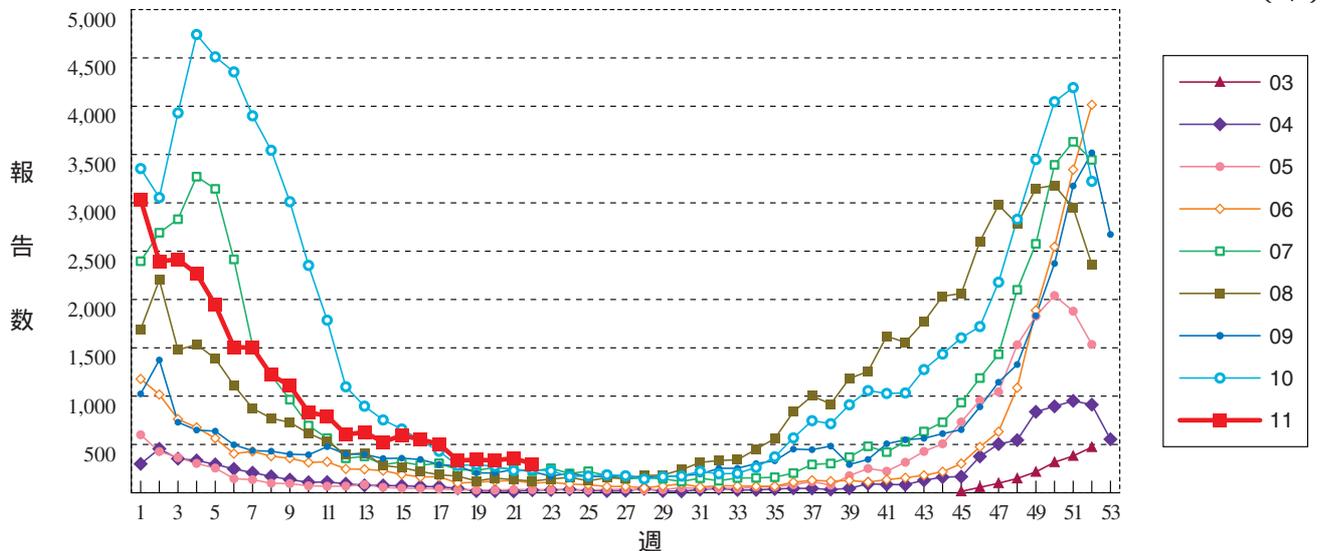
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





22週のデータ

注)表中の報告数は6月8日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年22週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		379	11774
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	445
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	148
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	67
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	134
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	61
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	106
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	119
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	242
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	133
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	596
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	592
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43	1820	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	801
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	146
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	73
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	121
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	70
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	61
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	145
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	205
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	270
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	817
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	147
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	133
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	226
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	578
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	478
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	111
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	225
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	89
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	166
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	411
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	132
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	121
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	60
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	485
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	161
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	137
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	126
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	128
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	121
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	154
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	128

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年22週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		鳥インフルエンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	2	2	82	38	572	2	7	-	12	2	30	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	6	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	7	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	14	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	17	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	11	1	1	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	21	-	-	-	1	-	1	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22	-	32	-	2	-	8	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	9	6	29	-	-	-	1	-	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	5	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	111	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	-	-	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-	-	2	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	17	-	1	-	1	-	2	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	1	1	2	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	8	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	16	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	17	-	1	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	20	-	-	-	-	2	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	1	1	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	10	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	1	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1	29	1	1	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	6	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年22週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	1	123	-	10	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	16	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年22週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	12	100
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	16
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	13
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年22週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	40	-	-	-	-	-	-	3	13	-	1	-	-	-	-	-	-
北海道	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	10	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年22週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	-	-	2	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	2	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年22週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	14	222	-	5	-	-	9	316	2	97	2	147	-	4
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	6	1	2	-	4	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	1	7	-	1	-	6	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	7	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	3	12	-	-	-	-	1	13	-	2	1	7	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	22	-	5	-	14	-	-
東京都	-	-	-	-	-	20	-	3	-	-	-	65	-	15	-	8	-	2
神奈川県	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	1	26	-	4	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	5	-	1	-	9	-	-
富山県	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	3	-	2	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	1	1	4	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
静岡県	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	8	-	-	-	10	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	12	-	3	-	7	-	-
三重県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	6	-	5	-	1
滋賀県	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3	10	-	2	-	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	22	-	1	-	-	-	30	-	8	-	13	-	1
兵庫県	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	1	16	-	6	-	8	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-	9	-	3	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	3	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	2	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	12	-	4	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	3	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	1	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年22週

	クローンツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	48	4	102	19	581	1	28	-	5	1	1	12	281	-	42	-	-
北海道	-	2	-	4	-	10	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
茨城県	-	2	-	3	-	13	1	2	-	-	-	-	9	-	4	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	3	10	-	-	-	-	1	1	-	3	-	1	-	-
埼玉県	-	3	-	4	-	16	-	2	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-
千葉県	-	4	-	3	-	18	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-
東京都	-	9	1	18	-	160	-	5	-	1	-	-	2	74	-	3	-	-
神奈川県	-	1	-	7	2	33	-	3	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
富山県	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
石川県	-	-	-	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	2	5	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	1	11	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
静岡県	-	2	-	1	-	9	-	2	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	3	-	44	-	2	-	-	-	-	3	22	-	1	-	-
三重県	-	-	-	1	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
京都府	-	2	-	1	-	5	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
大阪府	1	4	-	7	4	98	-	2	-	-	-	-	2	30	-	1	-	-
兵庫県	-	2	-	3	1	17	-	2	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	1	6	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
和歌山県	-	-	1	2	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
広島県	-	2	-	3	1	16	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
山口県	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
福岡県	-	3	1	11	1	18	-	-	-	1	-	-	1	14	-	-	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	1	-	6	-	-	-	2	-	-	-	4	-	5	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-	-	7	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	1	1	7	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2011年22週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	22	10	167	13	297
北海道	-	-	1	7	-	4
青森県	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	1	-	1	-	2
秋田県	-	1	1	1	-	1
山形県	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	1	7	-	-
栃木県	-	1	-	1	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	4	1	16
千葉県	-	3	-	6	1	19
東京都	-	-	-	13	2	140
神奈川県	-	3	1	35	4	29
新潟県	-	-	-	4	-	1
富山県	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	1	-	2
福井県	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	1	-	1	-	2
静岡県	-	-	1	3	-	2
愛知県	-	-	-	5	-	14
三重県	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	2	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	3	3	33	-	5
兵庫県	-	1	-	4	1	6
奈良県	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	3
広島県	-	1	-	7	1	21
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	1	-	1
愛媛県	-	-	-	1	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	2	11	3	5
佐賀県	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	2
熊本県	-	2	-	2	-	-
大分県	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	1
沖縄県	-	2	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年22週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	4038	0.82	1822	0.58	7863	2.51	18821	6.00	5154	1.64	3435	1.10	2818	0.90	1933	0.62	106	0.03
北海道	269	1.19	91	0.64	405	2.85	726	5.11	305	2.15	22	0.15	201	1.42	59	0.42	4	0.03
青森県	122	1.91	12	0.29	38	0.93	138	3.37	58	1.41	17	0.41	10	0.24	23	0.56	-	-
岩手県	112	1.81	2	0.05	78	2.00	112	2.87	68	1.74	54	1.38	8	0.21	15	0.38	-	-
宮城県	73	0.78	15	0.25	154	2.61	387	6.56	94	1.59	20	0.34	16	0.27	38	0.64	1	0.02
秋田県	106	1.93	24	0.69	37	1.06	237	6.77	45	1.29	6	0.17	8	0.23	16	0.46	-	-
山形県	48	1.02	15	0.52	72	2.48	293	10.10	81	2.79	5	0.17	61	2.10	24	0.83	-	-
福島県	147	1.84	19	0.40	123	2.56	314	6.54	87	1.81	-	-	42	0.88	24	0.50	-	-
茨城県	53	0.44	37	0.49	212	2.83	277	3.69	97	1.29	14	0.19	92	1.23	28	0.37	-	-
栃木県	27	0.36	10	0.21	82	1.71	142	2.96	88	1.83	7	0.15	99	2.06	31	0.65	1	0.02
群馬県	18	0.18	35	0.58	142	2.37	337	5.62	109	1.82	6	0.10	113	1.88	25	0.42	3	0.05
埼玉県	39	0.16	102	0.64	625	3.93	1051	6.61	242	1.52	17	0.11	254	1.60	130	0.82	3	0.02
千葉県	86	0.42	81	0.62	452	3.45	808	6.17	209	1.60	16	0.12	95	0.73	91	0.69	11	0.08
東京都	38	0.09	163	0.63	896	3.45	1859	7.15	334	1.28	71	0.27	189	0.73	169	0.65	9	0.03
神奈川県	28	0.09	101	0.50	416	2.05	1294	6.37	342	1.68	29	0.14	134	0.66	145	0.71	10	0.05
新潟県	228	2.40	25	0.42	214	3.57	494	8.23	156	2.60	8	0.13	52	0.87	34	0.57	2	0.03
富山県	10	0.21	43	1.48	81	2.79	308	10.62	41	1.41	3	0.10	14	0.48	7	0.24	-	-
石川県	18	0.38	20	0.69	87	3.00	184	6.34	32	1.10	3	0.10	34	1.17	20	0.69	-	-
福井県	44	1.38	20	0.91	112	5.09	279	12.68	49	2.23	40	1.82	23	1.05	5	0.23	-	-
山梨県	2	0.05	2	0.08	65	2.71	140	5.83	26	1.08	7	0.29	29	1.21	12	0.50	-	-
長野県	120	1.36	14	0.25	152	2.76	504	9.16	110	2.00	2	0.04	48	0.87	25	0.45	4	0.07
岐阜県	25	0.29	36	0.68	80	1.51	207	3.91	61	1.15	17	0.32	26	0.49	30	0.57	5	0.09
静岡県	33	0.26	48	0.57	183	2.18	601	7.15	169	2.01	26	0.31	156	1.86	55	0.65	-	-
愛知県	60	0.31	90	0.50	454	2.51	1149	6.35	227	1.25	119	0.66	212	1.17	116	0.64	7	0.04
三重県	30	0.42	43	0.96	70	1.56	291	6.47	80	1.78	15	0.33	38	0.84	24	0.53	1	0.02
滋賀県	13	0.25	60	1.88	76	2.38	180	5.63	45	1.41	22	0.69	15	0.47	16	0.50	-	-
京都府	104	0.85	23	0.31	119	1.61	353	4.77	71	0.96	51	0.69	43	0.58	26	0.35	-	-
大阪府	92	0.31	70	0.36	469	2.42	1084	5.59	249	1.28	307	1.58	132	0.68	126	0.65	11	0.06
兵庫県	84	0.42	128	1.00	242	1.89	689	5.38	194	1.52	148	1.16	100	0.78	59	0.46	2	0.02
奈良県	28	0.51	11	0.31	52	1.49	147	4.20	55	1.57	13	0.37	37	1.06	9	0.26	3	0.09
和歌山県	13	0.26	5	0.16	31	1.00	119	3.84	37	1.19	66	2.13	48	1.55	17	0.55	1	0.03
鳥取県	5	0.17	10	0.53	66	3.47	85	4.47	26	1.37	26	1.37	3	0.16	9	0.47	2	0.11
島根県	15	0.39	19	0.83	32	1.39	190	8.26	29	1.26	103	4.48	18	0.78	16	0.70	-	-
岡山県	39	0.46	21	0.39	55	1.02	288	5.33	42	0.78	259	4.80	13	0.24	29	0.54	2	0.04
広島県	14	0.12	57	0.80	149	2.10	314	4.42	63	0.89	182	2.56	65	0.92	42	0.59	6	0.08
山口県	19	0.28	42	0.88	131	2.73	257	5.35	71	1.48	66	1.38	46	0.96	33	0.69	-	-
徳島県	49	1.29	10	0.43	43	1.87	122	5.30	19	0.83	31	1.35	17	0.74	19	0.83	-	-
香川県	32	0.65	34	1.13	20	0.67	138	4.60	23	0.77	149	4.97	5	0.17	20	0.67	-	-
愛媛県	29	0.48	15	0.41	89	2.41	253	6.84	86	2.32	54	1.46	23	0.62	23	0.62	-	-
高知県	18	0.38	4	0.13	85	2.83	137	4.57	39	1.30	37	1.23	7	0.23	24	0.80	1	0.03
福岡県	153	0.77	64	0.53	420	3.50	738	6.15	303	2.53	614	5.12	73	0.61	91	0.76	8	0.07
佐賀県	138	3.54	26	1.13	54	2.35	72	3.13	73	3.17	110	4.78	38	1.65	22	0.96	-	-
長崎県	182	2.60	17	0.39	71	1.61	184	4.18	68	1.55	84	1.91	23	0.52	24	0.55	1	0.02
熊本県	72	0.90	16	0.33	64	1.33	270	5.63	117	2.44	72	1.50	16	0.33	53	1.10	2	0.04
大分県	29	0.50	26	0.72	59	1.64	471	13.08	87	2.42	113	3.14	19	0.53	32	0.89	-	-
宮崎県	135	2.29	30	0.83	137	3.81	280	7.78	119	3.31	166	4.61	94	2.61	42	1.17	-	-
鹿児島県	282	3.03	68	1.24	140	2.55	253	4.60	133	2.42	166	3.02	21	0.38	39	0.71	-	-
沖縄県	757	13.05	18	0.53	29	0.85	65	1.91	95	2.79	72	2.12	8	0.24	16	0.47	6	0.18

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年22週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1121	0.36	3248	1.04	45	0.07	390	0.58	14	0.03	12	0.03	209	0.45	13	0.03	299	
北海道	16	0.11	73	0.51	-	-	7	0.24	-	-	-	-	6	0.26	-	-	45	
青森県	4	0.10	59	1.44	-	-	1	0.09	-	-	-	-	10	1.67	-	-	9	
岩手県	22	0.56	56	1.44	-	-	6	0.43	-	-	-	-	19	1.00	-	-	6	
宮城県	20	0.34	42	0.71	-	-	1	0.08	-	-	-	-	14	1.17	-	-	10	
秋田県	5	0.14	12	0.34	-	-	2	0.29	-	-	-	-	9	1.13	-	-	1	
山形県	-	-	41	1.41	-	-	4	0.50	-	-	-	-	4	0.40	-	-	1	
福島県	2	0.04	30	0.63	-	-	15	1.25	-	-	-	-	11	1.57	4	0.57	7	
茨城県	3	0.04	66	0.88	-	-	15	0.88	-	-	-	-	1	0.08	-	-	1	
栃木県	12	0.25	51	1.06	-	-	12	1.09	-	-	-	-	3	0.43	2	0.29	1	
群馬県	6	0.10	75	1.25	-	-	19	1.27	-	-	-	-	1	0.13	-	-	2	
埼玉県	11	0.07	90	0.57	-	-	17	0.41	2	0.22	-	-	6	0.67	2	0.22	2	
千葉県	8	0.06	93	0.71	3	0.09	14	0.42	1	0.11	-	-	-	-	-	-	5	
東京都	29	0.11	141	0.54	1	0.03	12	0.32	-	-	1	0.04	7	0.29	-	-	16	
神奈川県	13	0.06	129	0.64	1	0.02	57	1.33	1	0.14	-	-	1	0.14	-	-	14	
新潟県	2	0.03	117	1.95	1	0.11	6	0.67	-	-	-	-	7	0.58	3	0.25	21	
富山県	2	0.07	35	1.21	-	-	1	0.14	-	-	-	-	6	1.20	-	-	3	
石川県	1	0.03	19	0.66	-	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.40	-	-	6	
福井県	7	0.32	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50	-	-	-	
山梨県	1	0.04	29	1.21	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	16	0.29	239	4.35	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.09	-	-	1	
岐阜県	11	0.21	41	0.77	-	-	5	0.45	-	-	1	0.20	3	0.60	-	-	10	
静岡県	16	0.19	87	1.04	-	-	6	0.32	-	-	-	-	4	0.44	-	-	4	
愛知県	41	0.23	101	0.56	-	-	14	0.41	1	0.07	-	-	12	0.80	1	0.07	8	
三重県	2	0.04	30	0.67	-	-	3	0.25	-	-	-	-	1	0.11	1	0.11	1	
滋賀県	12	0.38	48	1.50	-	-	2	0.25	-	-	-	-	2	0.29	-	-	2	
京都府	23	0.31	43	0.58	-	-	6	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
大阪府	75	0.39	178	0.92	-	-	13	0.25	-	-	2	0.13	19	1.27	-	-	42	
兵庫県	31	0.24	170	1.33	3	0.09	18	0.51	1	0.10	-	-	1	0.10	-	-	12	
奈良県	1	0.03	6	0.17	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.17	-	-	1	
和歌山県	44	1.42	25	0.81	-	-	-	-	1	0.09	-	-	2	0.18	-	-	2	
鳥取県	30	1.58	72	3.79	-	-	3	1.00	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	
島根県	6	0.26	22	0.96	-	-	1	0.33	1	0.13	1	0.13	-	-	-	-	-	
岡山県	71	1.31	80	1.48	1	0.08	4	0.33	-	-	-	-	3	0.60	-	-	3	
広島県	51	0.72	59	0.83	-	-	25	1.32	1	0.05	-	-	7	0.33	-	-	6	
山口県	19	0.40	56	1.17	-	-	3	0.33	-	-	1	0.11	3	0.33	-	-	3	
徳島県	12	0.52	35	1.52	-	-	-	-	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-	2	
香川県	66	2.20	50	1.67	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	13	0.35	81	2.19	-	-	12	1.50	-	-	-	-	5	0.83	-	-	4	
高知県	24	0.80	6	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-	
福岡県	60	0.50	200	1.67	-	-	9	0.35	-	-	-	-	3	0.20	-	-	12	
佐賀県	5	0.22	28	1.22	1	0.25	3	0.75	-	-	-	-	2	0.33	-	-	8	
長崎県	42	0.95	55	1.25	-	-	7	0.88	1	0.09	1	0.09	4	0.36	-	-	-	
熊本県	48	1.00	81	1.69	-	-	1	0.11	-	-	-	-	4	0.27	-	-	3	
大分県	12	0.33	23	0.64	-	-	5	1.00	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	
宮崎県	52	1.44	78	2.17	-	-	20	3.33	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
鹿児島県	158	2.87	173	3.15	-	-	10	1.43	-	-	-	-	4	0.33	-	-	8	
沖縄県	16	0.47	22	0.65	34	3.40	21	2.10	3	0.43	2	0.29	13	1.86	-	-	15	

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年22週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69	2	11	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年22週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1
北海道	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第13巻 第22号 2011年6月17日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。